



(公社) 鹿児島県診療放射線技師会

会報

令和6年1月

第138号



公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会
鹿児島市東坂元四丁目28-11
TEL 099-248-0028

目次

巻頭言

鹿児島県診療放射線技師会 会長 太田原 美郎	1
------------------------	---

報 告

表彰委員会より（橋口氏叙勲受章、JART 表彰報告）	2
学術奨励賞受賞報告	4
ボウリング大会 案内	6
第 2 回告示研修会（実技研修）報告	8
第 56 回鹿児島 CT 研究会 開催報告	9
第 73 回鹿児島消化器画像研究会 開催報告	11
リーダー及びリーダー育成研修会 開催報告	12
令和 5 年度 秋季学術大会（第 42 回南薩地域研修会）開催報告	14
第 3 回告示研修会（実技研修）報告	17
第 2 回鹿児島市夜間急病センター当直者研修会 報告	19

各研究会等の案内

1 月 24 日：第 57 回 鹿児島 CT 研究会	20
1 月 30 日：令和 5 年度 鹿児島県放射線機器管理士部会研修会	21
2 月 07 日：鹿児島消化器画像・超音波研究会 合同開催	22
2 月 24 日：第 43 回 南薩地域研修会	23
2 月 27 日：第 21 回 鹿児島県医療情報システム研究会 鹿児島県医療画像情報精度管理士部会 Web 合同開催	24
2 月 29 日：令和 5 年度鹿児島さくら RT 研修会	25

企業による最新技術紹介

Photon-counting CT-NAEOTOM Alpha の有用性

シーメンスヘルスケア株式会社 CT 事業部 佐々木 信治

新連載 若手技師による施設紹介 -第 1 回-

いまきいれ総合病院 宮ヶ谷 瑠 技師（鹿児島地域）

募集・アンケート

理事会議事録

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 令和 5 年度 第 1 回 常務理事会議事録	32
---	----

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 令和 5 年度 第 3 回 理事会議事録	35
---	----

行事・活動予定

理事・監事名簿

編集後記

企業広告

巻頭言 2024 年頭のご挨拶

鹿児島県診療放射線技師会 会長 太田原美郎

明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。また、昨年中は本会の運営ならびに事業に対しまして、多大なるご支援ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

昨年も新型コロナウイルス感染症の対応に追われた一年となりました。しかし、3年以上にも及んだこの新型コロナウイルス感染症も5類に分類され、経済活動の回復をはじめ以前の日常を取り戻しつつあります。

日本漢字能力検定協会によって選ばれる「今年の漢字」ですが、2023年は「税」が選ばれました。消費増税が5%から8%に引き上げられた2014年以来2度目の選出とのことです。個人的には38年ぶりの阪神タイガースの優勝や大谷選手のMLBアメリカンリーグMVPなど、野球の「球」になるのではと期待しておりましたが、少々残念な結果となってしまいました。

「税」の部首「のぎへん」は穀物を、つくりは「抜きとる」という意味で、収穫したコメなどの穀物を税金として納めることを意味しています。一年を通じて増税議論が活発に行われたほか、定額減税やインボイス制度といった「税」にまつわるテーマに関心が集まった点がその理由として挙げられていたようです。2024年の「今年の漢字」は、是非とも未来のある明るいものになるよう期待したいところであります。

さて、いま日本で取り沙汰されている問題に2040年問題があります。現役世代の急減に伴い、介護・福祉における人手不足、社会保障費のさらなる増大が懸念されるという問題です。2040年に日本の人口は約1億1000万人となり、「1人の高齢者を1.5人の現役世代で支える」かたちとなります。団塊ジュニア世代が65歳以上になり、高齢者人口がピークになるとされる年です。2025年問題では「高齢者の増加」が課題となっておりますが、2040年問題では「現役世代の急減」、つまり労働者が不足するという大きな課題があります。労働者不足なのであれば診療放射線技師という職業も安泰なのではないかと考えがちですが、日本の人口自体も急速に減少していきます。厚生労働省行政推進事業における研究によりますと、医療需要は各医療職ともに2030年頃までは増加しそれ以降は減少に転じ、15年後には供給過多の時代を迎えるとしています。

また、2020年以降、IoTのThings、つまりモノの進化が始まり世の中のさまざまな機械が急速にロボット化しております。社会を変えるキーテクノロジーは、今後さらに人工知能(=AI)に加えてロボット工学(=ロボティクス)となり、近い将来多くの仕事をAIとロボットが担っていくことが予想されています。

このように人口・社会構造の変化が見込まれる時代であるからこそ、将来に向け私たち診療放射線技師はタスク・シフト・シェアにて医師の働き方改革に貢献する体制をきちんと整えていく必要があります。今後さらにタスク・シフト・シェアは進んでいきます。自分たちの業務を拡大し未来のある職業としていかなければなりません。しかしながらこれに係る告示研修ですが、全国医療施設に勤務する診療放射線技師の告示研修未受講率は、全国平均でおよそ70%(2023年9月現在)となっております。業務拡大に伴い人員の確保や安全確保など課題も多くありますが、新たな業務を積極的に受け入れ自分たちの業務としていくことが私たち診療放射線技師という職業が生き残っていく術なのではないでしょうか。

鹿児島県診療放射線技師会ももちろん2040年問題に対応すべく、事業のスリム化や効率化を図りながら告示研修を初め様々な事業に取り組んでまいります。本年も引き続きご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

新しい年が会員の皆さまお一人お一人にとって佳き年となりますことを祈念申し上げまして、年頭に当たってのご挨拶といたします。

1. 叙勲受章（瑞宝単光章）

鹿児島県診療放射線技師会から推薦の橋口善治さんが令和5年春の叙勲 瑞宝単光章を受章され、5月8日 県庁での伝達式に臨まれました。ご本人様よりご提供の写真、コメントを添えてご報告いたします。瑞宝単光章は長年公的業務に従事して職務成績をあげた方を称えるものです。本会発展に多大な貢献されての受章、心よりお祝い申し上げます。

令和五年 秋の叙勲受章に際して

橋口 善治

このたびは、令和五年春の叙勲において瑞宝単光章をいただき、このうえない喜びとともに重ね重ねの栄光に驚いています。これもひとえに会員皆様のお力添えの賜物であり深く感謝申し上げます。私 二十八歳から診療放射線技師の世界に入り、六十歳の定年に至るまで、ひたすら仕事を続けてきたというのが実感であり、これほど立派な瑞宝単光章をいただけるなど夢にも思っていませんでした。

今後ともこの榮譽に恥じることはないよう一層の精進を重ね、微力を承知しつつも、診療放射線技師会のために 些かなりともお役にたてればと考えております。



▲令和5年5月8日、県庁での伝達式の様子と賞状

橋口善治さんは昭和55年5月から平成24年3月まで鹿児島市医師会病院に勤務されました。鹿児島県診療放射線技師会においては平成3年度から9年度まで総務理事、表彰理事、学術理事の役職歴があり、うち平成7年度から9年度まで副会長として務められ本会発展に大きく貢献されました。

また平成18年に鹿児島県診療放射線技師会功労賞、令和4年に厚生労働大臣表彰（診療放射線技師業務功労）など多数の表彰歴、学術分野の功績としては昭和63年「デクビタス撮影立位側面撮影の工夫」、平成3年「アルミ板と銅板を材料とした胸部用補償フィルターの試作」、平成4年「照度計によるポータブル写真濃度の均一化」など全国および九州学会で多数の研究発表をされ、習得した知識伝授、指導役割を果たし放射線技師技術育成、発展に大きく寄与されました。

2. JART表彰について

鹿児島県診療放射線技師会から令和5年度功労賞および永年勤続表彰（50年、30年）について4名の会員を推薦いたしましたのでお知らせいたします（地域名は所属する施設）。

- ・功労賞 無し
- ・50年表彰 1名（北薩地域1）
- ・30年表彰 3名（鹿児島地域2、霧島始良地域1）

計4名を11月13日付け文書にて推薦いたしました。今後は、JART事務局で確認作業となり4月には確定する見込みです。授与式は10月31日から11月3日、沖縄県で開催される第40回日本診療放射線技師学術大会で行われる予定です。

3. 過去の表彰者数一覧

令和元年以降の表彰者数を以下に示します（令和5年度は予定者数）。JART30年表彰においては、今回47名の候補者がおられましたがご辞退される方も多いようです。候補に挙がった会員の方にはご自身が長年積み上げてきた努力と功績の表彰として受け入れて頂き、多くの方が受賞されますことを望みます。

年度(西暦)	叙勲	JART功労者	JART50年	JART30年
令和01年度(2019年度)		0	2	9
令和02年度(2020年度)	秋1	0	0	8
令和03年度(2021年度)	春2	0	0	8
令和04年度(2022年度)	秋1	0	0	4
令和05年度(2023年度)	春1	0	(1)	(3)

副島恭平さん(大井病院)学術奨励賞受賞!!
おめでとうございます



学術奨励賞受賞者の皆様（向かって左から6番目が副島さん）
Network Now 11月号より JART の許可を得て転載

大井病院（霧島始良地域）の副島恭平さんが日本診療放射線技師会の学術奨励賞を受賞され、熊本で行われた第39回日本診療放射線技師学術大会で受賞式が行われました。学術奨励賞は前年度の生涯教育カウントの取得上位者（日本診療放射線技師会会員の上位10名）に与えられる賞です。自己研鑽するには地理的に不利な中での受賞、鹿児島県診療放射線技師会としても誇りに思います。副島さんの今後ますますのご活躍を期待しています。



副島さんから受賞報告をいただきましたのでご紹介させていただきます。

医療法人七徳会 大井病院の副島恭平です。この度、私は、日本診療放射線技師会が表彰する学術奨励賞を受賞させていただきましたので、ここにご報告申し上げます。日本診療放射線技師会の表彰規定によりますと、学術奨励賞は「1 積極的な自己研鑽により診療放射線技師としての資質向上に努め、医療及び公衆衛生の普及及び向上に貢献した者に授与する。2 表彰の対象者は、表彰を受ける前年度に本会生涯教育カウントの取得上位者とする。」と定められています。

私は昨年度、様々な分野において自己の知識とスキルを高めるため、精力的に勉強会への参加に励みました。その結果、貴重な経験を積むことができ、本賞を受け取ることとなりました。

昨年度は年間を通じ、約 120 回の勉強会に参加することができました。参加した勉強会は多岐にわたり、鹿児島県診療放射線技師会の各研究会等が開催する勉強会をはじめ、他県の放射線技師会が開催する勉強会、日本診療放射線技師会や日本放射線技術学会の学術大会、クリニカルラダーの研修や放射線技師の認定資格試験（放射線管理士）など様々なものがありました。そしてその全てが WEB 開催であったおかげで自宅に居ながら参加することができ、幅広い知識の習得と専門性の向上を図ることができました。

勉強会の情報は、主に私がインターネット上で精査して収集しています。放射線技師向け情報サイト「ラジくる」をはじめ、CT 専門技師認定機構の公式サイトや、さらには SNS などを活用することで、最新の勉強会情報を素早く入手することができました。

参加する過程で家事・育児をこなしながらの勉強会参加は苦労した点でもありましたが、家族の協力のおかげで、乗り越えることができたと感じています。

今後も私は様々な分野での自己研鑽を続け、更なる成果を上げるべく努力を惜しまない所存です。引き続き、皆様のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上、学術奨励賞の受賞報告でした。引き続きのご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



2024.03.02(土)

15:00~17:00

令和5年度

鹿児島県診療放射線技師会

ボウリング大会

腕自慢募集します

場所：T-MAX BOWL（詳細は別紙記載）

ゲーム数：2ゲーム（実力によるハンデあり）

副賞：1～5位ノブ賞ノブ賞ノブ賞など（詳細は当日のお楽しみ）

参加登録：パスマーケットからご登録ください

終了後に懇親会（希望者のみ）もご用意しています（詳細は別紙）

¥1000

参加費
(貸靴代込)
先着32名

主催：鹿児島県診療放射線技師会

問い合わせ先：大井病院 愛下 0995-63-2291(内線628)

メール：housyasen@ooihp.jp

事前登録方法：下記のURLか右の2次元コードよりご登録ください

https://passmarket.yahoo.co.jp/event/preview/confirm?event_id=02mipkxdk21



会場：T-MAX BOWL
住所：鹿児島市東千石町3-39(キャパルボ横)
電話：099-225-1011

アクセス方法

自動車でお越しの方は提携駐車場をお使いください

電車でお越しの方は天文館通電停（高見馬場駅@市電）から徒歩2分

T-MAX BOWL

住所
鹿児島市東千石町3-39
(キャバルボ横)
電話番号
TEL.099-225-1011
FAX.099-225-1022
営業時間
[毎日] 10:00～翌1:00



ボウリング大会詳細

ハンディキャップ制



事前登録時に経験やベストスコアを
参考にに点数にハンデを設けます

福利厚生



鹿児島県診療放射線技師会により
一部参加費・副賞を負担いたします

懇親会のご案内

場所：熊襲亭

鹿児島市東千石町6-10

Tel 099-222-6356

時間：18:00～

会費：3000円

懇親会に出席される方は

パスマーケットにて【ボウリング&懇親会参加】を選択してください

鹿児島で開催された第2回告示研修会(実技研修)報告

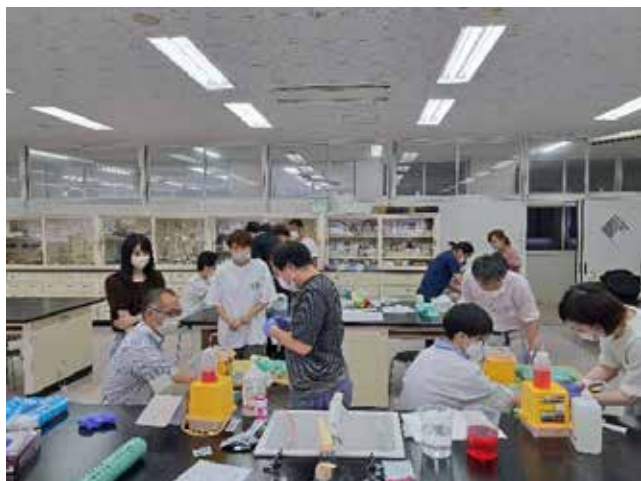
告示研修担当 藤崎 拓郎

(公社)鹿児島県診療放射線技師会では、「令和3年厚生労働省告示第273号研修」(告示研修会)を厚生労働省からの委託を受けた(公社)日本診療放射線技師会主催で、本年度第2回、通算7回目の告示研修会を令和5年9月17日に開催しました。

今回も、朝8時20分の受付から、午前中に実技研修の動画を視聴し、午後より① 静脈路確保関連実技 ② 動脈路確保関連実技 ③ 静脈路確保関連(RI)実技 ④ 静脈路確保関連(CT),(echo),(他)実技 ⑤ 下部消化管検査関連実技 ⑥ 上部消化管検査関連実技の6つの実技研修を行い、夕方18時近くまでのハードスケジュールで実施されました。

今回は、受講者数が38名と初めて40名を割り、アクティブな会員の受講が終わったのではと考えています。実は、受講者数に応じて運営側の人数も減らされますので、今後も少なくなるようでしたら、年間の開催数減を検討しようかと考えています。

受講を迷われている会員のみなさまにおかれましては、今回の拡大業務の実施有無に関わらず、技師免許の更新と捉え、早目の受講をお願い致します。当会としましても、色々な意味からも技師免許の2分化を避けたいと考えていますし、次回新たな業務拡大があった場合の大変さや打ち切りなどを危惧していますので、鹿児島で、1日で終わるうちに、是非受講をご検討ください。



第56 回鹿児島CT 研究会 開催報告

鹿児島 CT 研究会世話人 木村 圭佑

第56回鹿児島 CT 研究会を 2023 年 9 月 21 日(木)19:00~21:00 Web にて開催致しました。事前参加登録は 109 名 (県外から 17 名)、当日参加者は、会員 80 名、非会員 4 名 (医師、メーカー)、県外からの参加も多数あり遠方から視聴していただきました。

本日は、主に肺がん術前 CT をテーマとした会でした。メーカーによる情報提供、診療放射線技師による施設発表、呼吸器外科の先生による特別講演という内容で 2 時間行いました。

当日は司会進行に、私、南風病院 木村が担当致しました。



司会：木村会員

まず、画像処理ワークステーションメーカーより最新の呼吸器系アプリケーションソフトを中心とした情報提供を、ザイオソフト株式会社様、富士フィルムメディカル株式会社様の 2 社に行って頂きました。

引き続き、各施設の肺がん術前 CT における、プロトコルや画像処理について 2 施設より、発表して頂きました。

いまきいれ総合病院 会員 尾堂聡 技師

鹿児島大学病院 会員 金丸由起子 技師 の 2 名の方々により、有益な情報を提供いただきました。



発表：尾堂会員



発表：金丸会員



座長：濱田会員

特別講演の座長は、いまきいれ総合病院 会員 濱田智太郎 技師に務めていただきました。

特別講演では、いまきいれ総合病院 診療統括部長 呼吸器外科 部長 副院長 米田 敏 先生 を迎えて、ご講演いただきました。

題目

『The History of Lung Segmentectomy—3DCT の有用性—』

肺がんの疫学、肺の解剖といった基礎的な事から、これまでの肺区域切除の歴史をお話し頂き、最後には、実際の術中動画を 3 症例、供覧頂きました。

術中の動画を交えながら、私たち放射線技師の作成する画像の重要性を教えて頂き、改め日々の CT 業務、画像処理を、よりクオリティの高いものが提供出来るように、日々研鑽を積まなければならないと感じました。

明日からの臨床に繋がる特別講演となり、あっという間の時間でした。



特別講演講師：米田先生

本日の内容

- 肺癌の疫学
- 肺の解剖
- 区域切除の歴史
- 区域切除の実際
 - ビデオ供覧
 - 1. 縦隔型A4b+A5を伴う左肺舌区切除
 - 2. 右肺S2+S3a区域切除
 - 3. 左肺S1+2c+S3a+S4a区域切除
 - ：

がん死亡数の順位(2021)

	1位	2位	3位	4位	5位
総数	肺 76,212	大腸 52,418	胃 41,624	膵臓 38,579	肝臓 24,102
男性	肺 53,278	大腸 28,080	胃 27,196	膵臓 19,334	肝臓 15,913
女性	大腸 24,338	肺 22,934	膵臓 19,245	乳房 14,803	胃 14,428



まとめ

- 術前準備 (シミュレーション)
- 正確な解剖の理解 (破格の有無)
- 切除範囲の把握
- 腫瘍の局在
- チーム全体での共有
- 術中ナビゲーションを用いることで、より安全かつ確実な区域切除が可能
- 造影剤不使用でも可能
- 脱気モード
- 保険申請、3D画像支援加算あり

米田先生のご厚意により スライド一部抜粋

今後も県内の技師の活躍、ウェブを活用した県外からの講演を企画致します。
今後の“鹿児島CT研究会”への参加を宜しくお願い致します。

- 世話人：
- (代表) 愛下 剛 大井病院
- 岩元 優樹 鹿児島医療センター
- 沖中 祐幸 川内市医師会立市民病院
- 木村 圭佑 南風病院
- 坂口 右己 霧島市医師会医療センター
- 濱田 智太郎 いまきいれ総合病院
- 林 六計 鹿児島大学病院
- 福留 慎也 米盛病院
- 二間瀬 竜太 今村総合病院
- 穂山 和章 鹿児島厚生連病院
- 宮原 洋一 鹿児島市立病院

第56回 鹿児島CT研究会

日時：2023年 9月21日(木) 19:00~21:00

開催形式：Web開催のみ (Webex Meetings)

参加方法：事前登録参加 (先着150名予定)

日本診療放射線技師学会 会員：無料 非会員：2000円

※日本X線CT専門技師認定機構、肺がんCT検査認定機構、日本放射線影射認定機構、日本診療放射線技師会の学術研修カウンターの対象となります。

※事前登録が必要です。9月13日(月)13時締め切り

【開会挨拶】19:00-19:05 鹿児島CT研究会世話人

【ワークステーション情報提供】19:05-19:35
～呼吸器系アプリを中心に～

アミン株式会社
富士フィルムメディカル株式会社

【施設発表】19:35-20:00
『当院における肺癌術前プロトコール』
いまきいれ総合病院 尾堂 聡
『当院の肺癌手術におけるCTの役割』
鹿児島大学病院 金丸 由起子

【特別講演】20:00-20:55
『The History of Lung Segmentectomy
-3DCTの有用性-』
いまきいれ総合病院 診療統括部長 呼吸器外科 部長 副院長
米田 敏 先生

【閉会挨拶】20:55-21:00 鹿児島CT研究会 代表世話人

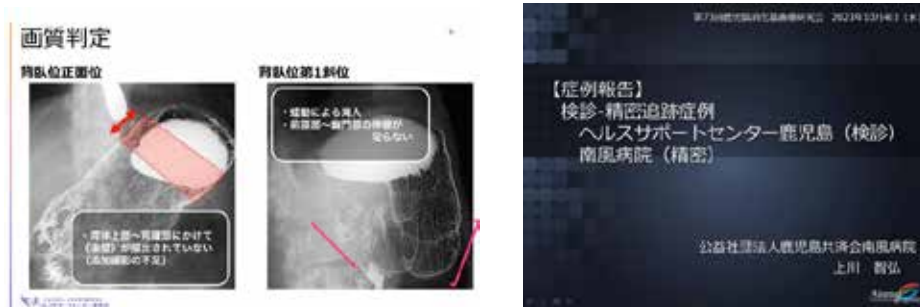
第73 回鹿児島消化器画像研究会 開催報告

鹿児島消化器画像研究会 橋本 隆志

令和5年10月4日（水）、WEB開催にて鹿児島消化器画像研究会を開催し、50名(会員50名)の参加がありました。

第1部では、検診施設と精検施設間での追跡症例を2症例の画像を共有し、所見の拾い上げ、撮影へのフィードバックを行いました。

1症例目の検診施設からはヘルスサポートセンター鹿児島の藤田さん、精検施設からは南風病院の上川さんから画像の提示をしていただきました。胃角小弯の病変で、ブラインドが発生しやすい部位であり、病変を正面視に難渋した症例でした。2重造影だけでなく圧迫像でも病変部を捉える工夫をされておりました。



第1症例

2症例目の検診施設からは、鹿児島厚生連病院 健康管理センターの高松さん、精検施設からは南風病院の日高さんから画像の提示をしていただきました。胃角後壁病変と体下部小弯のダブル cancer で、多発胃がんの文献的考察を交えながら、撮影に対する心構えやコントラストを良好に保ち、漂流像を効果的に追加撮影することで診断に寄与できた症例でした。



第2症例

第2部では、医療法人親愛天神クリニック、森一宏先生より『画像精度を意識した撮影〜透視観察を中心に〜』というタイトルで特別公演をしていただきました。実際の症例を交えながら胃X線制度に影響する因子を丁寧に解説していただき、与えられた検査を機械的に撮影するのではなく、画像の良し悪しや所見の有無を”検査中に確認しよう”という意識を持つこと、“癌を探しにいこう”という、検査に取り組む心構えが大切であることを再認識させていただきました。



特別公演

次回開催もWEBでの開催を予定しております。日程は技師会ホームページ等にてご案内いたしますので、今年度も、会員、非会員問わず多くの方の参加をお待ちしております。

令和5年度(公社)鹿児島県診療放射線技師会 リーダー及びリーダー育成研修会 開催報告

学術担当 藤崎 誠

令和5年度 (公社)鹿児島県診療放射線技師会 リーダー及びリーダー育成研修会が
令和5年10月12日(木)19:00~20:30 オンラインにて開催されました。

参加者は、52名(診療放射線技師会会員50名 一般2名)でした。

今年度は「働きやすい職場環境づくりのためのワーク・ライフバランスの考え方」と題して社会保険労務士の川口真紀子先生に講演していただきました。

働きやすい職場環境とはどういうものか。働き方改革の担い手としての管理職のあり方について具体的かつ分かりやすく講演していただき、日々の管理業務や部員に対してのマネジメントを行なう上でも参考になったのではないかと思います。

「働きやすい職場環境づくりのためのワーク・ライフバランスの考え方」

社労士 Office SerenoM 代表 社会保険労務士 川口 真紀子 先生

【講演要旨】

ワーク・ライフバランスの基本的な考え方として正社員と非正規社員の処遇面での2極化、労働時間面でも2極化が進んでいる。そのために活躍の場を阻害や社員間の軋轢が起こる。そこで老若男女だれもが仕事と家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など様々な活動について自ら希望するバランスでいられる状態がワーク・ライフバランスである。

ワーク・ライフバランスの向上により

→生活が充実する。→仕事の効率・パフォーマンスが向上する。→短時間で仕事の成果を出せる。→プライベートに時間を使える。→生活が充実する。→ という好循環になることができる。

管理職・リーダーはワーク・ライフバランスの担い手として職場や部下のマネジメントが求められる。

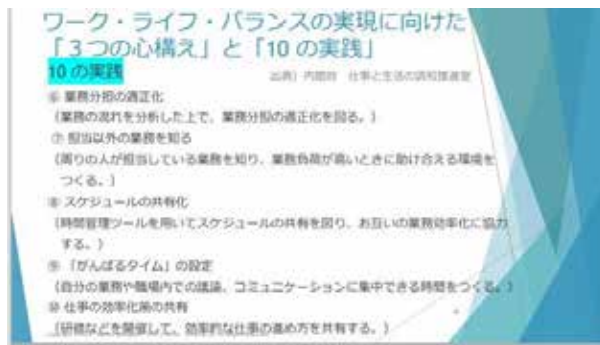
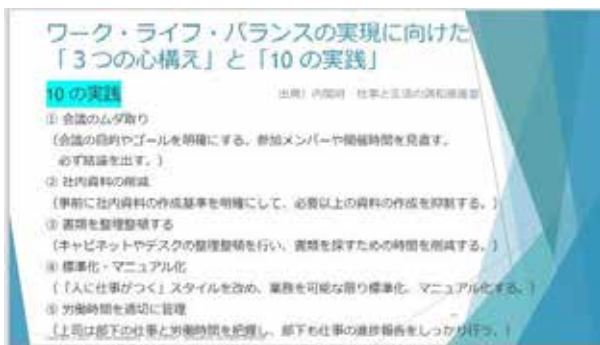


- 藤崎副会長 -



- 座長 -





来年度もテーマを変えて開催予定ですので、リーダー研修会という名称に臆することなく会員の皆さんの参加をぜひお願いいたします。

最後に鹿児島市雇用推進課担当者および川口先生より今回の事業案内パンフレットを預かりましたので掲載いたします。ぜひご活用ください。

WLB推進アドバイザー

無料

派遣！！

鹿児島市の事業所に対し W L B 推進アドバイザーを無料で派遣します。

求職者に選ばれる、魅力ある職場にしたい！

長時間労働の是正？同一労働同一賃金？いったいどうすればいいの？

働きやすい職場づくりの実現に意欲のある事業所にアドバイザー（社会保険労務士等）を派遣しますので、ぜひご利用ください！！（無料で3回まで）

相談例①

・「えるぼし」や「くるみん」の認定を受けるにはどうすればよいか。

相談例②

・就業規則の見直しや社内研修など、できることから取り組んでみたい。

相談例③

・働き方改革に対応するために使える助成金について知りたい。

WLBの推進による効果

- ・職場の魅力向上！
- ・働き方改革への対応！
- ・職場定着率のアップ！
- ・優秀な人材の確保！ など

問合せ・申込み先
 鹿児島市産業局産業振興部 雇用推進課
 電話：099-216-1325
 FAX：099-216-1303

報告 令和5年度「秋季学術大会」終了報告

南薩地域理事 木佐貫 克朗（加世田病院）

11月18日、「令和5年度 秋季学術大会」を開催いたしましたので報告いたします。秋季学術大会は平成16年度（2004年度）から各地域が持ち回りで開催するようになり、今回 南薩地域の当番で4巡目となります。

令和2年から新型コロナウイルス感染の猛威によって技師会イベントが尽く中止・延期となる中、令和5年5月からの5類感染症移行となり、対面開催の機会も増えてきました。今回は、南薩地域研修会との合同開催として計画し、移転後初めての会場使用として県立薩南病院での対面およびWEBのハイブリッド開催、総数38名に出席頂きました。

特別講演では沖縄県立宮古病院 嶺井一美先生より「ボランティア活動報告～ジャパンハートこども医療センターinカンボジア」が話され、現地で活躍する医療スタッフの勤務環境、設備、治安などご苦労が身に染みる内容でした。

事業報告では令和6年2月24日に前原総合医療病院（日置市）において第43回南薩地域研修会をX線撮影技術研究会との合同開催として座学、ハンズオンも予定しております。

県内外から多くの参加を期待しています。

【日 程】

開催日 令和5年11月18日（土）
時 間 14時～17時45分
会 場 県立薩南病院 2F 大会議室（南さつま市加世田村原 4-11）

【内 容】

1. 会員発表 14時15分～ 座長：長野 勝悟（馬場病院）

- ①「電子カルテのテンプレート機能の有用性について」 医療法人七徳会大井病院 愛下 剛 技師
- ②「当院 骨密度測定機能付き透視装置における骨密度検査の測定精度評価」
川内市医師会立市民病院 藤崎 拓郎 技師
- ③「Machine QA体制の構築について」 社会医療法人博愛会相良病院 大迫 俊一 技師

2. メーカー講演 14時50分～ 座長：長野 勝悟（馬場病院）

- ①「Deep Learning を利用したCT 関連技術について」 キヤノンメディカルシステムズ 小竹 啓介 様
- ②「MAGNETOM System の最新技術動向」 シーメンスヘルスケア 諸井 貴 様

3. 特別講演 16時15分～ 座長：野中 康博（菊野病院）

「ボランティア活動報告～ジャパンハートこども医療センターinカンボジア」

沖縄県立宮古病院 嶺井 一美 先生

4. 事業報告 17時20分～

- ①南薩地域事業について 南薩地域理事 木佐貫 克朗（加世田病院）
- ②県事業について 鹿児島県診療放射線技師会理事 野中 康博（菊野病院）

【出席者】

所属	会員番号	氏名	所属	会員番号	氏名
1 大井病院	50567	愛下 剛	21 県立薩南病院	38968	平 稔幸
2 小原病院	76765	池田聖樹	22 多摩北部医療センター	62084	平山孝
3 若松記念病院	69844	石原広大	23 南風病院	26098	藤崎拓郎
4 大井病院	73066	上藪侑太	24 川内市医師会立市民病院	41248	藤崎誠
5 唐仁原クリニック	32928	江平俊雄	25 浅ノ川総合病院	56161	舟田悟
6 相良病院	57158	大迫俊一	26 鹿児島厚生連病院	49651	穂山和章
7 厚生連高岡病院	39704	川田勝義	27 いまきいれ総合病院	45831	丸尾美由紀
8 南州メディカル	33998	川西義浩	28 沖縄県立宮古病院	48006	嶺井一美
9 加世田病院	42039	木佐貫克朗	29 鹿児島市立病院	45116	宮原洋一
10 前原総合医療病院	72117	岸上洋一	30 松岡救急クリニック	47129	山崎慎治
11 県立薩南病院	26841	久保展弘	31 大井病院	63353	山下大介
12 指宿浩然会病院	45030	国生岳志	32 県立薩南病院	53494	吉田行寿
13 県立薩南病院	26099	児玉公輝			
14 鹿児島市医師会病院	48091	木場 淳		JART 会員	32
15 垂水中央病院	49965	坂本幸望		JART 非会員	0
16 TMG あさか医療センター	73986	佐藤直彦		会場出席者	20
17 久木田整形外科病院	24831	園田実郎		Web 出席者	18
18 県立薩南病院	76919	立石ひめ乃		メーカー出席者	6
19 馬場病院	28818	長野勝悟		県外からの出席者	5
20 菊野病院	35101	野中康博		総数	38

【過去の南薩地域における秋季学術大会一覧】

回	開催日	会場	総数	放技師	メーカー	学生	他職種	演題			備考
								会員発表	メーカー講演	特別講演	
秋季学術1	平成16年11月21日(日)午前	県立薩南病院	45	42	3	0	0	8	0	0	持ち回り制の1回目 が南薩支部!
秋季学術2	平成22年11月13日(土)午後	県立薩南病院	42	35	7	0	0	5	2	0	南薩地区研修会と兼ねる!
秋季学術3	平成28年11月16日(日)午前	県立薩南病院	36	33	0	3	0	4	0	2	南薩地域研修会と兼ねる!
秋季学術4	令和05年11月18日(日)午後	県立薩南病院	38	32	6	0	0	3	2	1	南薩地域研修会と兼ねる!

※秋季学術大会は平成16年(2004年)から各支部持ち回り制となり、初めての開催が南薩支部でした。

※初めての開催時、前日の11/20(土)午後にはリダー育成研修会35名、支部長会議9名、夜に懇親会20名、宿泊者7名。

【研修会写真】



▲令和5年5月、新築移転して初めての使用となる県立薩南病院。



▲県立薩南病院2F会議室、研修会風景。

令和5年度 第3回 告示研修 開催報告

学術担当 藤崎 誠

令和5年度 第3回告示研修が12月3日（日）に鹿児島医療技術専門学校 平川校

1号館5階 多目的ホールおよび1号館4階 臨床実習室で開催された。

参加者は38名であった。（会員：25名、非会員：13名）

講師2名 佐藤 昌之（米盛病院 放射線科医師）、川野 那奈華（いづろ今村病院 看護師）

ファシリテータ5名（藤崎 拓郎、池田 真一、東 幸浩、福留 慎也、脇田 慎一）

スタッフ2名で行なった。

午前中はDVD視聴で法令改正について、法令改正に伴う業務拡大の各論等について学んだ。

午後より静脈穿刺実技、CTおよびMRI、超音波その他の造影検査手技実技、核医学検査手技実技、動脈路に造影剤注入装置を接続する行為と血管造影時の清潔操作一連の実技、下部消化管検査で注入した造影剤及び空気を吸引する行為の実技、上部消化管検査のために挿入した鼻腔カテーテルから造影剤を注入する行為および鼻腔カテーテルを抜去する行為の実技の6ブロックを6つの班に分かれ、それぞれを約1時間にわたり実技研修を行なった。

早朝からのDVD視聴であったが参加者は真剣に視聴しメモをとる姿も見られた。

午後からの実技研修において参加者は皆、真剣に実習を受けており質問等をする様子も多く見られた。朝から終日の長時間にわたる研修会であったにも関わらず集中力も途切れることなく受講されていた。

今後は各施設にて実際にこれらの業務を行なっていくものと期待される。

令和5年度は残り1回の告示研修を2024年1月21日に開催予定である。

令和6年度も4回開催予定である。

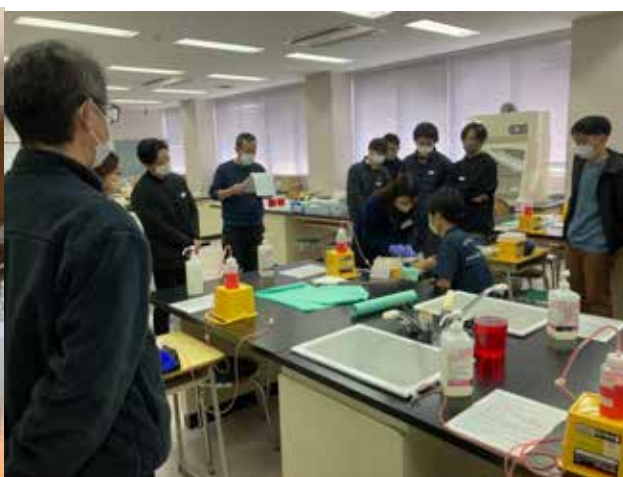
未受講の会員についても診療放射線技師業務の将来を考える上で是非とも受講していただきたいと考える。

～～～プログラム～～～

8:20～8:50	受付
8:50～9:00	開講式・オリエンテーション
9:00～10:15	DVD 視聴
10:15～10:25	休憩
10:25～12:30	DVD 視聴
12:30～13:20	休憩
13:20～17:50	実技研修（途中休憩あり）
17:50～18:00	閉講式



DVD 視聽風景



静脈路確保指導風景



実技研修風景（静脈路確保）



実技研修風景（動脈、清潔操作等）



実技研修風景（上部消化管）



下部消化管指導風景

令和5年度第2回鹿児島市夜間急病センター当直者研修会 報告

いづろ今村病院 脇田 慎一

令和5年12月5日に令和5年度第2回鹿児島市夜間急病センター当直者研修会を鹿児島市勤労者交流センター（よかセンター）にて開催いたしました。今回は久しぶりの対面開催といたしました。参加者は27名で、当直者以外の参加も8名ありました。

今回は7年ぶりに、鹿児島共済会南風病院の整形外科主任部長吉野伸司先生にご講演をいただきました。また座長には鹿児島共済会南風病院の井ノ上技師長にお願いいたしました。予定では上肢の講演でしたが、先生から7年前に上肢について話をしたので今回は足関節の話をしますと提案があり「足関節・後足部変形の診断と治療」の演題でご講演を頂きました。講演では足部・足関節の一般撮影について、実際の症例や動画を用いて分かりやすく具体的に説明して頂きました。

足部・足関節の機能障害がADLに直結し、足が第2の心臓といわれていること、足外科の目標であるplantigrade foot（蹠行性）の獲得について、その評価に単純X線撮影が効果的であると話されていました。蹠行性とは「正しく着床して歩行できる」という意味があるそうです。距骨下関節が一番大きく動くため、関節不安定性の評価に単純X線でのストレス撮影、変形の評価に立位での荷重撮影を行うと伺いました。これらの撮影は負荷に対する関節のゆるみ等をみるため、再現性が大切であると教えて頂きました。再現性も大切にしつつ、患者様の痛みや動かせる範囲にも気を配りながら撮影業務に取り組む必要があると感じました。



第57回 鹿児島 CT 研究会

謹啓 時下、先生方におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。Web開催する運びとなりました。ご多用とは存じますが、ご参加賜りたくご案内申し上げます。 謹白

日時：2024年 1月24日（水）18:30~20:30

開催形式：Web開催のみ（Webex Meetings）

参加方法：事前登録参加（先着150名）鹿児島県内の診療放射線技師優先

日本診療放射線技師会 会員：無料 非会員：2000円

※日本X線CT専門技師認定機構、肺がんCT検診認定機構、日本救急撮影認定機構、日本診療放射線技師会の学術研修カウントの対象となります。

※事前登録が必要です。1月22日（月）13時締め切り

【開会挨拶】18:30-18:35 鹿児島CT研究会担当世話人 宮原 洋一@鹿児島市立病院

【FFR_{CT} 情報提供】18:35-18:45

冠動脈CTを用いた新しい虚血診断について（FFRCT）

HeartFlow Japan 上村 将行

【~心臓領域~施設発表】18:45-19:30

座長 坂口 右己@霧島市立医師会医療センター

『TBT注入法を中心に』

沖中 裕幸@川内市医師会立市民病院

『TAVI術前検査を中心に』

岩元 優樹@鹿児島医療センター

『心臓遅延造影を中心に』

安永 勇太@県立北薩病院

【特別講演】19:30-20:25

座長 林 六計@鹿児島大学病院

『心臓CTでわかること』

みなみ野循環器病院 放射線技術部長

望月 純二 先生

【閉会挨拶】20:25-20:30 鹿児島CT研究会 代表世話人 愛下 剛@大井病院

※ 事前登録方法：下記のURLか右の2次元コードよりご登録ください

<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/02beipipaie31.html>

当番世話人：大井病院（愛下） 鹿児島大学病院（林）川内市医師会市民病院（沖中）

鹿児島市立病院（宮原）霧島医師会立医療センター（坂口）

共催：鹿児島CT研究会/鹿児島県診療放射線技師会

緊急連絡先（日中） 大井病院 愛下 0995-63-2291(内線628)

メール：housyasen@ooihp.jp

開催中の対応ができない場合がありますのでご理解の程よろしくお願ひ申し上げます

事前参加登録



QRコード

会員各位

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会
会長 太田原美郎
放射線機器管理士部会
部会長 藤崎拓郎

令和 5 年度 鹿児島県放射線機器管理士部会研修会 開催案内

下記の日程、要項で放射線機器管理士部会研修会を開催することとなりました。
管理士資格の有無は問いません。多数参加して頂きますようご案内申し上げます。



日時 令和 6 年 1 月 30 日(火)
時間 19 時 ～ 21 時
会場 WEB 開催のみ(Webex Meetings)
参加費 診療放射線技師非会員のみ: 2000 円 その他全て:無料
登録 **※事前登録が必要です。1 月 28 日 0 時 締切**
下記アドレスか左 QR コードからご登録下さい。

<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/02kfnknztyf31.html>

18:55～19:00

【 県技師会活動報告 】 (公社)鹿児島県診療放射線技師会会長 太田原 美郎
【 部会活動報告 】 鹿児島県放射線機器管理士部会 部会長 藤崎 拓郎

【 特別講演 】 19:00～20:00 司会 : 川内市医師会立市民病院 藤崎 拓郎

『 臨床工学技士が行う病院医療機器管理について 』

鹿児島大学病院 臨床技術部 臨床工学部門 士長 佐潟 芳久 先生

【 テーマ討論 】 20:00～21:00 司会 : 鹿児島大学病院 西郷 康正

『 法制化された医療機器管理のその後 ～各施設の管理状況～ 』

- | | |
|---------------|-------|
| ① 南風病院 | 中原 武志 |
| ② 今村総合病院 | 恵 智徳 |
| ③ 霧島市立医療センター | 佐々木 崇 |
| ④ 川内市医師会立市民病院 | 藤崎 拓郎 |
| ⑤ 鹿児島市立病院 | 西元 辰也 |

尚、本会員参加者には、日本診療放射線技師会学術研修カウント 2.0 が付与される予定です。

【 連絡先 】 川内市医師会立市民病院 放射線課 0996(23)4418 藤崎まで

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会
鹿児島消化器画像・超音波研究会 合同開催

第74回 鹿児島消化器画像研究会 第24回 鹿児島超音波研究会

拝啓

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび第74回鹿児島消化器画像研究会および第24回鹿児島超音波研究会（合同開催）をWEBにて開催する運びとなりました。日々業務の中、ご多忙とは存じますが、多数ご参加の程よろしくお願い申し上げます。

敬具

開催
日時

令和6年2月7日(水)
18:30～20:00

開催
形式

WEB開催
※事前登録が必要です

●第1部● 超音波プログラム (18:30-19:10)
司会：西 憲文（鹿児島厚生連病院）

- ◎ 「肝の腫瘍性病変～エコーで見る MRIで見る～」 20分
いまきいれ総合病院 浮田 啓一郎
- ◎ 症例から学ぶ 各10分

1. 鹿児島厚生連病院 楠元 亮太 2. いづろ今村病院 上釜 健作

●第2部● 消化管X線プログラム (19:20-20:00)
司会：脇田 慎一（いづろ今村病院）

- ◎ 胃X線ビギナー 10分
所見用語のまとめ 南風病院 山下 友也
- ◎ 症例から学ぶ 各15分

1. 鹿児島厚生連病院 萩原 純久 2. 南風病院 日高 稔

<参加費> 診療放射線技師会 会員：無料 非会員：2000円

・参加方法：下記のURLか二次元コードよりご登録をお願いします。

<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/0234ba6pbf31.html>



※ 事前登録期間
2024年1月7日～2024年2月3日（土）締め切り

（お問い合わせ先）鹿児島消化器画像研究会事務局

鹿児島共済会南風病院 E-MAIL：kasyouken.mail@gmail.com

※研究会当日の配信に関する施設へのお問い合わせはご遠慮ください。

共催 鹿児島消化器画像研究会 鹿児島超音波研究会 鹿児島県診療放射線技師会

第 43 回 南薩地域研修会の案内

～X線撮影技術研究会との合同開催～

第 43 回南薩地域研修会を以下の日程、内容で計画しております。会場は初めての使用となります前原総合医療病院（日置市伊集院町）です。対面と WEB のハイブリッド方式を予定していますが、通信環境によっては会場対面のみとなります。

プログラムが確定しましたら二回目の案内をホームページ上でお知らせします。その際、事前登録についてはQRコード、アドレス、締め切り日なども案内いたします。

記

- *開催日 令和 6 年 2 月 24 日 (土)
- *時 間 15 時～18 時
- *会 場 前原総合医療病院 2F 会議室
- *内 容 以下のとおり予定しています。

1. 会 員 発 表 : 2 題予定しています
2. メーカー講演 : 2 題予定しています(コニカミノルタ、富士フィルム)
3. X線撮影技術研究会 : 座学とハンズオンを予定しています

【問い合わせ】

南薩地域理事	木佐貫克朗 (加世田病院)	0993-53-6300
学術世話人	川西 義浩 (南州メディカル)	099-272-0567
学術世話人	長野 勝悟 (馬場病院)	099-296-2611
総務世話人	平 稔 幸 (県立薩南病院)	0993-53-5300
総務世話人	國生 岳志 (浩然会病院)	0993-22-3295
福厚世話人	岸上 洋一 (前原総合医療病院)	099-273-3939

(12 月 21 日現在の情報です)

第21回 鹿児島県医療情報システム研究会 鹿児島県医療画像情報精度管理士部会 Web 合同開催(ご案内)

第21回鹿児島県医療情報システム研究会と鹿児島県医療画像情報精度管理士部会を
下記の通り合同で開催致します。今回も Web 配信とします。

— 記 —

日時 2024年2月27日(火曜日) 18時30分 ~ 20時30分

会場 Web 開催(Webex Meetings)

参加費 放射線技師会員・学生・メーカー：無料

技師会非会員：2,000円

参加方法 事前登録が必要です。2024年2月25日(日曜日)23時締切

下記アドレス・QRコードから登録をお願いします。

<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/02e3gcubkyf31.html>



プログラム

1. 開会挨拶 鹿児島県医療情報システム研究会 代表世話人 若松 重良
 2. 鹿児島県医療画像情報精度管理士部会活動報告 部会長 武宮 太
司会:谷口 裕樹
 3. 障害に強いネットワークの作り方(40分) 18:40~19:20
アライドテレシス株式会社 江島 祐司氏
 4. 富士フィルムメディカル~医療AIの取り組み~(40分) 19:20~20:00
富士フィルムメディカル株式会社 中村 恵一氏
 5. 施設報告(30分) 20:00~20:30
 - 1) 富士フィルムメディカル社製 CXR-AID の使用経験と評価について 昭南病院 相川 晃太
 - 2) 富士フィルムヘルスケア社製 CT SCENARIA View の使用経験 大井病院 副島 恭平
 - 3) 富士フィルムメディカル社製 SAI viewer の使用経験 鹿児島市立病院 永田 隆二
- ※質疑応答

⑤ 閉会挨拶 武宮 太

当研修会付加ポイント予定申請一覧

※医療画像情報精度管理士更新カウント

※医療情報技師ポイント 1ポイント

※医用画像情報専門技師ポイント 1ポイント

※日本診療放射線技師会学術研修カウント

申請中のポイントは確定次第、以下にて公開します <https://www.facebook.com/kagoshima.medicalsystem>

主催：公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会

共催：鹿児島県医療情報システム研究会

後援予定：日本医用画像情報専門技師共同認定育成機構 医療情報技師育成部会

問合せ先：武宮太 医療法人結縁会 ひらやま脳神経外科 TEL 099-297-5588

会員各位

令和5年度鹿児島さくら RT 研修会

日時：令和6年2月29日(木曜日)

時間：19時00分～21時00分

会場：WEB開催のみ(Webex Meetings)

参加費：日本診療放射線技師会会員、学生、一般：無料，非会員：2000円

登録：事前登録が必要です。2月26日(月)23時 締切

登録 URL：<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/02rt87ap1ig31.html>



司会進行 鹿児島さくら RT 世話人 相良病院 川口 風季

[開会挨拶] 19:00～19:10

[県技師会活動報告] (公社)鹿児島県診療放射線技師会 太田原 美郎

座長 鹿児島さくら RT 世話人代表 いまきいれ総合病院 丸尾 美由紀

[講演] 19:10～21:00

テーマ

「スキンテア(皮膚裂傷)防止と患者対応について学ぼう！」

・看護師の立場から (40分) 鹿児島市立病院 永田 富美子

・診療放射線技師の立場から (30分) 沖縄県立南部医療センター 新城 雅

・理学療法士の立場から (30分) いまきいれ総合病院 谷吉 航

20:50～21:00 質疑応答

[閉会挨拶] 21:00 鹿児島県診療放射線技師会 南 紫織 理事
(鹿児島さくら RT 世話人)

尚、本会員参加者には、日本診療放射線技師会学術カウントが付与されます。

[連絡先] いまきいれ総合病院 中央放射線課 丸尾まで

メールアドレス marurun0123@imakiire.or.jp

Photon-counting CT-NAEOTOM Alpha の有用性

シーメンスヘルスケア株式会社
CT 事業部 佐々木 信治

CT 装置の検出器は、1970 年台前半にキセノンガス検出器から始まった。そこから Siemens Healthineers では 1999 年に、初めて固体シンチレーション検出器（EID）を搭載する CT 装置が開発され、Spiral Scan・多列化・Dual Source といった様々な技術開発が行われてきた。一方で、現在の CT 技術の開発を俯瞰してみると、近年ではノイズ低減や AI を使用したソフトウェアの開発が中心となっている。それは、EID は、高精細撮影や低管電圧撮影による造影剤低減や Dual Energy イメージングによる物質弁別の活用など、X 線のエネルギー特性を利用した撮影に対する制限が掛かり限界を迎えているからかもしれない。この限界を超える CT 装置が 2021 年 SIEMENS Healthineers は、Photon-counting detector（PCD）を搭載した臨床用 Photon-counting CT（PCCT）NAEOTOM Alpha を開発した。本稿では、EID と PCD の動作原理の違い、制限の少ないスペクトラル画像、隔壁による線量効率の低下がない空間分解能、低線量撮影によるノイズのコントロールについて概説する。

EID と PCD の動作原理の違い

EID は、入射した X 線をシンチレータによって可視光に変換、変換した可視光はフォトダイオードを介して電流に変換する。そして単位時間当たりに入射した X 線フォトンによる信号を全エネルギーの積分値として計測する。このような原理であるため、個々の X 線フォトンのエネルギー情報は失われてしまうことや可視光を使用するため、シンチレータに隔壁を必要とする(図 1a)。PCD は、入射した X 線と半導体が相互作用することで、X 線エネルギーに比例した電子正孔対を発生させる。その後、高電圧バイアスをつけることで電子と正孔を分離させる。分離した電子をアノードピクセルへ引き寄せて X 線フォトンが保持するエネルギー値をパルス波高として計測する(図 1b)。このように EID と違い PCD は、“隔壁を必要としない”ため高精細撮影に適している。また、“X 線フォトンエネルギーごとにカウントする”ため常にスペクトラル画像を描出することが可能である。

制限の少ないスペクトラル画像

現在の EID を搭載する CT 装置のスペクトラル画像は、時間分解能や撮影速度の制限を余儀なくされていた。PCD を搭載した NAEOTOM Alpha は、Dual Source CT としての高い時間分解能（ハーフ再構成：66ms）と高速撮影（最速 73cm/s）を兼ね備えた Photon-counting CT である。よって従来冠動脈 CT 検査など動きによるアーチファクトの制御が困難であったが、NAEOTOM Alpha では、シャッタースピードを落とすことなくスペクトル解析が可能である。例えば、66ms の時間分解能を活かした Quantum PURE Lumen は、冠動脈の石灰化を選択的に除去することができ（図 2）従来、冠動脈 CT の適用が困難であった高度石灰化病変の診断能向上が期待できる¹。不要な心臓カテーテル検査を回避することに繋がり、侵襲的なカテーテル検査のゲートキーパーとして重要な役割を果たすと考えている。また、Quantum PURE Lumen は冠動脈だけでなく、末梢動脈である四肢動脈や頸動脈、腎動脈、および大動脈の閉塞性疾患への応用も可能で、CT 検査の適用範囲を広げるとともに、詳細な解剖構造の把握と治療戦略の立案に貢献することができる。

隔壁による線量効率の低下がない空間分解能

現在の EID を搭載する CT 装置は、隔壁を必要とすることで被ばくの観点で最小スライス厚を薄くすることが困難となっている。PCD を搭載する NAEOTOM Alpha の高分解能イメージングは、最小 0.2mm のスライス厚で再構成が可能である。面内の空間分解能は 10% MTF で 36 lp/cm を実現しており²⁾、固体シンチレーション検出器と比べて約 3 倍の高空間分解能を有する。また、PCD は検出器に物理的な隔壁を用意する必要がないことから幾何学的な線量利用効率は 100%を達成しており、空間分解能と画像ノイズのバランスが取れた理想的な高分解能イメージングを実現している。0.2mm 画像におけるノイズの上昇が低く抑えられていることは特筆すべき特長の一つで、骨や肺野の評価にも使う再構成関数を適用しているにも関わらず、低ノイズで高精細な画像が提供されている(図 3)。

低線量撮影によるノイズのコントロール

EID は、X 線フォトンを一度可視光に変換することから検出器素子間に光を反射するための隔壁を設ける必要がある。0.5~0.6mm の検出器開口幅を有する EID は 70~80%程度の線量利用効率であり³⁾、狭小化によるこれ以上の空間分解能を実装することは現実的でないと考えられる。また、X 線フォトンのエネルギー情報が得られることは検出器回路で発生する電気ノイズの除去に応用することができる。通常、電気ノイズは 20~25keV よりも低いエネルギー領域に分布するため、X 線フォトン検出の下限值(keV)を適切に設定することで、恣意的に電気ノイズを除去できる。特に低線量撮影における CT 値の再現性が向上する。

PCD は前述の通り、物理的な隔壁を用意する必要がなく、検出器回路の電気ノイズも恣意的に除去できるため、同等線量で撮影した場合の従来 CT と比べて最大で 5 割程度の画像ノイズ低減効果が示されている⁴⁾。

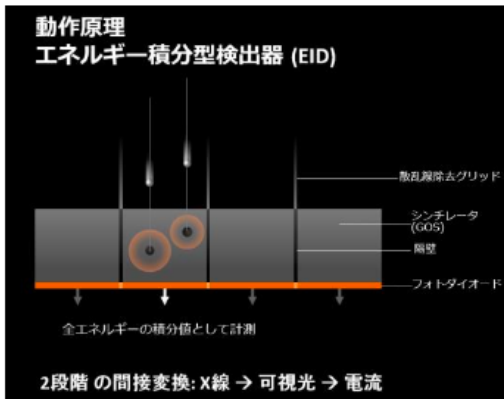
EID の場合、CTDI vol が 1mGy 程度の低線量では電気ノイズによるデータ汚染が顕著となるため、逐次近似法や深層学習を用いた画像再構成だけでは信号復元の効果も限定的となるが、PCD は検出器回路の電気ノイズも恣意的に除去できるため、クオリティの高いデータ収集に直結する。また、スペクトル解析による VNC (仮想非造影) 画像を作成することで、単純 CT の省略による被ばく低減も可能である。従来の CT 装置では困難であった詳細な形態情報の取得が低線量で可能となっており、正確な病態把握や適切な治療方針決定に大きく貢献することができる。

さいごに

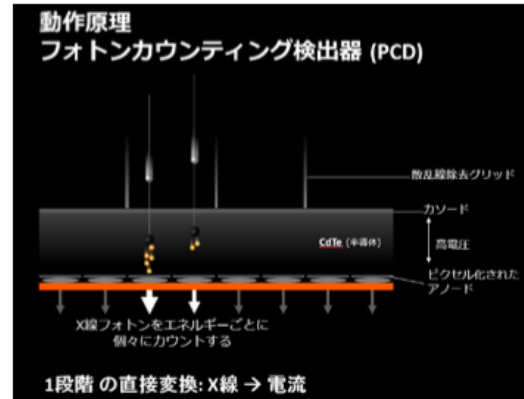
Photon-counting CT の有用性は、CT 装置に求められる性能や機能が一度の撮影で包括的に高いレベルで実現されることにある。高分解能でありながら、被ばくを低減・機能情報の取得に役立ち、疾患の正確な診断や病態把握、適切な治療方針の決定に直結する重要な技術である。

参考文献

- 1) T Allmendinger, et al. Invest Radiol, Jun 1; 57(6), 399-405, 2022.
- 2) K. Rajendran, et al. Radiology. 2022 Apr;303(1):130-138.
- 3) T. Flohr, et al, Phys Med. 2020 Nov;79:126-136.



(図 1a) 固体シンチレーション検出器の動作原理



(図 1b) フォトンカウンティング検出器の動作原理

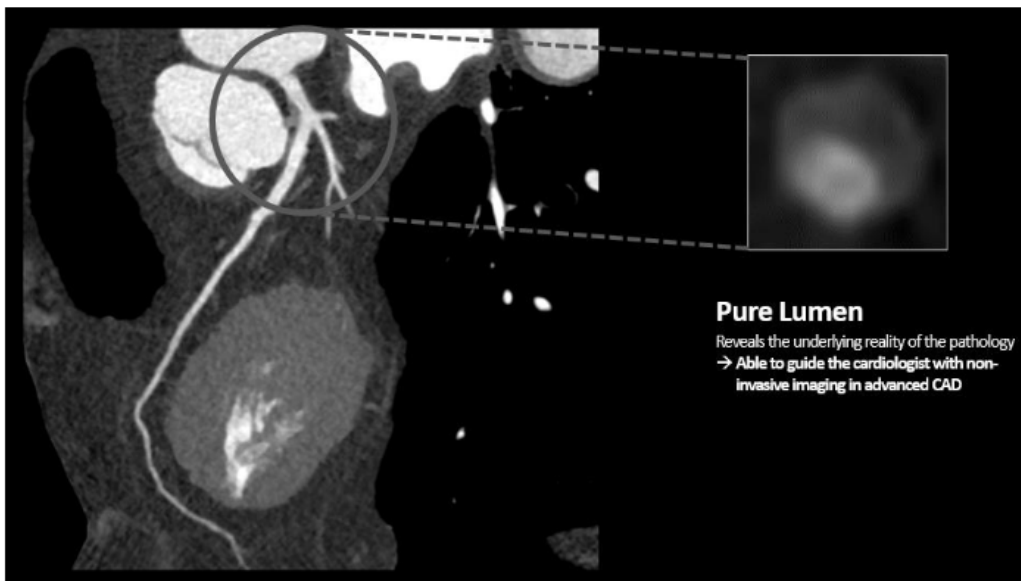


図 2 Quantum PURE Lumen による冠動脈内の石灰化除去

Dual Source CT としての高い時間分解能（ハーフ再構成：66ms）の高さを活かしたスペクトル解析が可能である。

Courtesy of University Hospital Augsburg, Augsburg, Germany

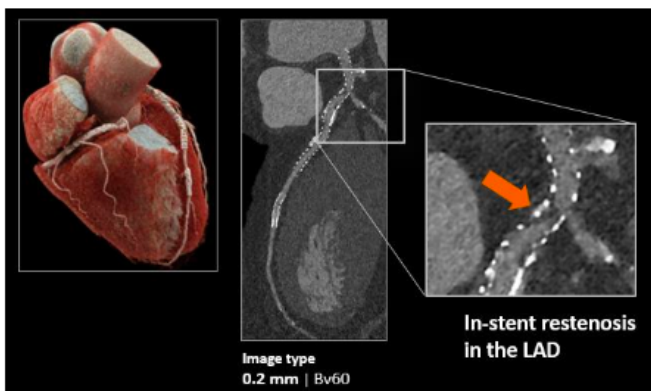


図 3 0.2mm のスライス厚による高分解能イメージング

sharp な再構成関数（Bv60）を適用した 0.2mm 画像でステント内腔も明瞭に描出されている。

Courtesy of Semmelweis University, Budapest, Hungary



新連載 - 第 1 回 -

若手技師による 施設紹介

いまきいれ総合病院 宮ヶ谷 瑠 技師 (鹿児島地域)



この度「若手技師による施設紹介」という企画で当施設の紹介をさせていただきます、いまきいれ総合病院の宮ヶ谷 瑠と申します。このお話を頂きました折、題名が些か気にはなりましたが、当院は3年前の移転を機に色々と新しくなった機器もございますので、この機会に皆様にご紹介できればと思います。

今回、施設紹介と自己紹介をとということでしたので先立ちまして僭越ながら自己紹介をさせていただきます。2013年に今給黎総合病院に入社して今年で10年目を迎えます。日々の主な業務内容としては一般撮影・CT・MRI・OPE室・透視・病棟ポータブル等を日替わりで担当しております。



いまきいれの誇るインテリ
3人組!? (真ん中が筆者)

最近では放射線治療に携わる機会を頂きまして、検査とは趣を異にする「大線量を用いて直接治療を行う」という今までとは全く違う分野を勉強しております。

正直、昨夜の夕食を思い出すのも危うい記憶力の中、線量管理や品質保持にて覚えることの多さに白目を剥いている日も多々ありますが、根気強い先輩方のお陰で何とか続けられています。この場を借りて感謝申し上げます。しかしながら、実際に放射線治療後に回復され、元気になった方を拝見するとこの分野に携われた事を嬉しく思い、今後とも精進していきたいなという気持ちになります。

私生活におきましては、尊敬する当院の浮田技師から正しいサウナの入り方を聞いて以来、とんでもなく脳内麻薬を出すこのサウナと水風呂の組み合わせに開眼してしまい、時間を見つけては足繫く通っております。

○施設紹介

既述の通り、当院は3年前の2021年に下竜尾町より現在の高麗町へ移転して参りました(現在下竜尾町は、上町いまきいれ病院として開院中)。場所は、「シェラトン鹿児島のだいたい隣の病院」というと分かり易いと思います。

当院の中央放射線課は、放射線科医4名、診療放射線技師24名、受付クラーク4名で構成されており、一般撮影室3室(骨密度、パノラマ



も)、CT3台(Canon:AquilionONE、Philips:Incisive)、MRI2台(Philips:Ingenia

Elition・Achieva dStream)、放射線治療装置 1 台 (Elekta Infinity)、RI 1 台 (Bright View)、DSA 1 台 (Philips:Allura XperFD)、透視装置 2 台 (Canon:Ultimax-i DREXUI80 他)、マンモグラフィー 1 台 (Hologic:Selenia) を始め、ポータブル装置 3 台、外科用イメージング 2 台、0-arm 等を有しています。



職場ではお互いに仕事の事は勿論の事、個人的な話や日常の事、様々な話をよくしているので、そこら辺の付き合いの浅い親戚より、お互いの近況を良く知っているのではないのでしょうか。数年前までは、キャンプやお花見、勉強会の帰りや池田会等、様々なイベントの度に集まっておりましたが、昨今の流行り病の影響を受けて中々大勢で集まるのが難しくなり、全ての集まりはみんなで酒を飲む為の口実だと思い込んでいる我が放射線課としては寂しい期間が続いてまいりました。



しかしながら長い自粛期間も終わりを迎えまして、今年も 3 年ぶりに忘年会が開催されました。これを機にまたみんなで集まれる機会が増えればなと思っています。

病院の規模が大きいので、検査の件数や種類も多く、忙しい日も多々ありますが、優秀で頼れる先輩方や、協力して円滑に仕事を回してくれる後輩達のお陰で、日々仕事が出来て、笑わせてもらっているこの職場で働くことが出来て幸せに思います。





鹿児島県診療放射線技師会会報

表紙写真募集!!

鹿児島県診療放射線技師会では、次号会報（5月発行予定）より会報の表紙を飾る写真を公募いたします。県内各地を訪れた際に撮影した写真や日常目にした風景など会員の皆様の写真をお待ちしております。

テーマ : 自由

応募締め切り : 2024年3月31日

応募方法 : keiichirou.ukita@gmail.com まで添付ファイルでお送りください。

応募多数の場合はこちらで選考させていただきます。

担当 : 浮田啓一郎 (広報)

会員参加型新企画

鹿児島県診療放射線技師会会員アンケート調査

第1回目のお題は

「コロナ禍が明けてから旅行行きましたか？」



<https://forms.gle/CcyTkzVon8MjqNwNA>

結果は次号会報（第139号）に掲載!!

回答時間5分ほど。回答締切 2024年3月31日

会員の皆さんの多数の回答をお待ちしています。

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会
令和5年度第1回常務理事会 議事録(抄)

日時：令和5年9月24日

13時00分～16時30分

場所：鹿児島県診療放射線技師会 事務所 (Web開催)

出席理事：

太田原 美郎, 藤崎 拓郎, 野中 康博, 渡邊 義治,

浮田 啓一郎, 木場 淳, 大迫 俊一, 藤崎 誠*

*Web参加

欠席理事：愛下 剛

議長：太田原 美郎

開会

太田原会長は、議事録採取人に大迫総務理事を指名し、議事に入った。一部理事は Web 会議システムを利用した出席であるが、議長は、審議に先立ち出席者の姿及び音声は他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するときと同等に相互に円滑に意思の疎通ができることを確認した。

第1号議案

各常務理事の業務内容確認・理事会報告事項内容確認

はじめに全常務理事共通の内容として理事会開催前に会議等へ参加した内容を『会務報告』をにまとめ理事会前日までに提出することとした。

1, 総務理事

理事会では、総務関連業務内容の報告を行うと共に理事会までに発行した『公文書一覧』の報告を行う。

2, 財務理事

理事会では、財務関連業務内容の報告を行う。それとは別に理事会では、下記の項目についても報告する。

年度末の理事会

*資金調達及び設備投資の見込みについて

資金調達及び設備投資の見込みがない場合でも、定款の定めに従い、資金調達及び設備投資の見込みについて理事会等の承認を受けてください。また、必要な手続き

を経たことが分かるよう、理事会等の議事録にもその旨を記載する。

年度始めの理事会

本年度の予算内訳を出したうえで理事会の承認をもらう。

3, 学術理事

理事会では、学術関連業務内容の報告を行う。あと研究会・部会・地域の研究会等実施状況と開催報告する。報告内容は、開催日時、開催方法(開催場所)、参加対象、参加人数(種別毎の人数)とし下記の例のように事前に資料を作成する。

報告には、会長を含む担当理事に回覧済みの報告書を用い報告書に記載されている問題点や改善点について討議する。

学術賞選出サポート

表彰規程細則には、学術賞がありこれまで表彰の実績がないため、今後は学術理事の業務として新たに表彰理事の学術賞選出サポートを行うこととした。

研究会等案内をホームページ掲載依頼

これまで総務理事が行ってきたが、鹿児島県主催の研究会で会長等担当理事の承認が得られたものは、学術理事が、ホームページ制作会社に直接依頼することで一時的に早く会員に情報を発信することとした。

4, 福利厚生理事

理事会では、福利厚生関連業務内容の報告を行う。業務としてはホームページの管理運営に関する内容を中心に行ってきたが、会員の親睦を図るためのイベント等も今後担当してもらうこととした。

ホームページの管理運営に関する事項

ホームページの改訂などをホームページワーキンググループ(HPWG:福利厚生・三役・広報・学術)で討議し、内容については理事会で報告する。

求人情報についても、技師会加入促進へ向けた広報活動の一環として県技師会ホームページ等を活用し技師会への加入促進を図る。

LINE の活用促進については、総務理事から 2023 年 6 月の利用料金改定に伴いメッセージの送信ができなくなっている状況を説明があり、各常務理事からの意見を元に、会員の利便性や情報発信の観点からライトプラン（月額固定費 5000 円）を利用について次回理事会で提案することとした。

親睦イベントの取りまとめ

会員（理事）からの提案を取りまとめ企画し、地域会員の親睦を図り技師会加入促進へ向けて取り組みをする。（例：ボーリング大会、ゴルフコンペなど）今年度は、年度末にボーリング大会の実施に向けて検討することとした。また、参加費等についても一部県技師会から負担ができないか、公認会計士等に相談することとなった。

5、編集・広報

理事会では、会報・ニュース進捗または掲載内容を中心に編集・広報関連業務内容について報告をする。

会報・ニュースの発行

会報については、現在年 2 回発行しているが次年度から年 3 回発行（9 月[総会議事録掲載]、1 月[新年]、5 月[総会資料掲載]）を目標に検討する。また、ニュースについては、会報発行までに報告等をしないとイケない場合において発行することとした。

発行に向けて主な業務

- ・掲載内容を企画し、関係者に原稿依頼を行う。
- 1：内容の企画立案：技師会加入促進へ向けた広報活動として、求人情報や施設紹介など他県の会報等も参考にして充実した内容となるよう取り組み、掲載にあたっては理事会等で提案し検討する。また、福利厚生理事と連携しホームページでも活用する。
- 2：協賛メーカーから新装置等情報発信したい内容の記事の募集し掲載する。
- 3：集まった原稿を編集し印刷製本の依頼を行う。
- 4：発送準備：印刷された会報の発送準備に参加できる理事を募り事務所で作業を行う

啓発活動

これまで学術理事が管理していた下記のイベントについては、編集・広報理事が担当し理事会にて開催報告等を行う。ただし、すべてのイベントを担当するわけではなく理事会で選任した担当理事の管理・サポートを行う

ものとする。下記の担当者(案)に関しては、次回理事会で再度検討する。

- 1, レントゲン週間イベント：担当者（浮田理事）
- 2, 市民公開講座：担当者（伊藤理事）
- 3, 市民健康まつり：担当者（渡邊理事）
- 4, つながる想い in 鹿児島：担当者（藤崎誠理事）
- 5, ピンクリボン：担当者（浮田理事）

ホームページの管理運営の補助

編集・広報理事は、広報活動の一環としてホームページの運用をサポートする。

6、組織

理事会では、定款 第 6 条 に基づき入会者の報告し最終承認を得る。また、会員動向など組織業務内容の報告を行う。

会員の入退会手続き

- ・入会時の手続き：JART からの入会登録情報を元に技師免許確認し会長を含む担当理事に確認し手続きを進める
- ・鹿児島県技師会 会員サイト用登録 手続きについて
入会：会費入金後に発番される会員番号等を元に会員サイト用登録をホームページ制作会社に依頼。
退会：退会確認回覧後に削除をホームページ制作会社に依頼。
転入・転出も同様に行う。
- ・登録完了通知のを入会完了時にメールを行う
* 入退会の可否を確認する会長を含む担当理事回覧の最終者は組織理事となる。

会員動向を理事会で報告

報告内容は、月末会員数、入会、転入、転出、退会とし昨年度末集計と毎月の動向を報告する。

連絡網の構築

組織理事がリストを作成し、地域理事（地域世話人の協力をもとに）にて確認をとる。

最終的に組織理事が取りまとめを行う。

確認事項：項目内容、登録の承諾、会報等への施設名掲載の承諾

- 項目：1, 地域 2, 施設名 3, 技師長名
4, メールアドレス

目的：お知らせ、緊急時連絡

- ① 県技師会連絡網を構築する
- ② 技師長会連絡網を構築する
- ③ 緊急時連絡網を構築する（役員、主要施設）

7、表彰

理事会では、表彰の進捗と今後の推薦者予定についてと、表彰委員会の審議内容等の報告を行う。

以上、各常務理事の業務内容確認・理事会報告事項内容について出席理事全てが同意し承認された。

第2号議案 その他

① 令和5・6年度 理事について

第1号議案で、各常務理事の業務内容を元に担当理事について検討を行い下記の通りとなった。

理事	総務	脇田 慎一	いづろ今村病院	
		市来 守	今村総合病院	
		東 幸浩	鹿児島医療技術専門学校	学術理事から変更
	学術	藤崎 拓郎	川内市医師会立市民病院	副会長を兼務
		本村 克朗	鹿児島大学病院	新規就任
		吉田 紫織	相良病院	
		堀上 英昭	鹿児島医療センター	
		伊藤 大助	米盛病院	鹿児島地域を兼任
	編集・広報	米重 亮馬	鹿児島市立病院	新規就任
	財務	木原 悠太	鹿児島市立病院	新規就任

② 表彰規程細則の一部変更について

第1条の感謝状に各研究会・部会の会務に10年以上を目安に従事した者を追記し、各地域世話人の会務についても独立した形の記載変更について提案があり、次回理事会にて変更の提案をすることになった。

新	旧	
(表彰基準) 第1条 感謝状 (1) 技師会に善意の奉仕をした者、および準会員で鹿児島県に勤務し、本会に対して貢献があったと会長が認めた者。 (2) 8年以上役員として従事した者。 (3) 各地域世話人の会務に10年以上を目安に従事した者。 (4) 各研究会・部会の会務に10年以上を目安に従事した者。	(表彰基準) 第1条 感謝状 (1) 技師会に善意の奉仕をした者、および準会員で鹿児島県に勤務し、本会に対して貢献があったと会長が認めた者。 (2) 8年以上役員として従事した者、 または各地域の会務に10年以上を目安に従事した者。	地域世話人を分けて記載 各研究会・部会を追加

閉会

議長より全ての議事が終了し、令和5年度第1回常務理事会の閉会が宣言された。

以上の決議を明確にするため。この議事録を作成し定款第45条2項に沿って、会議に出席した理事の中から指名した議事録署名人2人以上がこれに署名（電子

署名及び認証業務に関する法律第2条第1項に規定する電子署名を含む。）するものとする。

今回は、太田原会長、藤崎副会長、浮田理事、木場理事を議事録署名人とする。

以上

令和5年9月26日

議事録作成者：理事 大迫 俊一

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会

令和 5 年度第 3 回理事会 議事録 (抄)

日時：令和 5 年 10 月 14 日 14 時 30 分～

場所：相良病院 (Web 開催) / 吾愛人

出席理事：

藤崎 拓郎, 大迫 俊一, 渡邊 義治, 藤崎 誠, 浮田 啓一郎,
野中 康博, 吉田 紫織, 伊藤 大助, 米重 亮馬, 木原 悠太,
坂口 右己, 愛下 剛, 脇田 慎一, 市來 守, 東 幸浩,
本村 克朗, 元 俊晶*, 熊谷 繁夫*, 木佐貫 克朗*,
堀上 英昭*, 前田 健一郎*

*WEB 参加

欠席：太田原 美郎, 木場 淳

出席監事：池田 睦

議長：藤崎 拓郎

開会挨拶

議題

議題 1：会長・副会長・各常務理事による活動報告

議題 2：会員動向報告 (第 6 条)：組織

議題 3：規定・細則の改訂について

議題 4：公益監査報告

議題 5：地域世話人会の会場費について

議題 6：研究会動画記録について

議題 7：第 20 回 九州医療技術学術大会 (鹿児島大会)

第 1 回準備委員会報告

議題 8：LINE の活用促進について

議題 9：その他

- ① 坂元事務所当番業務内容について
- ② 夜間急病センターについて
- ③ その他意見交換

閉会挨拶

会を始めるにあたり、太田原会長はどうしても出席することができなくなったこと、議決権は定款第 36 条に則り理事の過半数が出席し、その過半数で満たすことの説明があった。その後、定款第 35 条に則り副会長の藤崎副会長を議長とし、直ちに議事に入った。

開会

議長より理事の過半数以上が出席しており、令和 5 年度第 3 回理事会の開催が宣言された。藤崎副会長は、議事録採取人に大迫総務理事を指名し、議事に入った。

一部理事は Web 会議システムを利用しての出席であるが、議長は、審議に先立ち出席者の姿及び音声は他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するときと同等に相互に円滑に意思の疎通ができることを確認した。

第 1 号議案 会長・副会長・各常務理事による活動報告

会務報告は別紙参照

会長 (太田原)：

特になし

副会長 [学術] (藤崎 拓郎)：

特になし

表彰 (野中)：

現在 JART 功労表彰、50 年、30 年の準備を進めている。
・功労表彰については、9 月 18 日の表彰委員会で挙がった藤崎拓郎さんを推薦し準備中。功労表彰 (地区役員) は、JART 表彰規程 第 10 条を元に地区責任者が推薦する。

・50 年表彰は、1973 年よりも以前にエックス線技師免許を取得されていることも考慮し、生年月日を元に JART から 3 名の候補者として連絡がありました。そのうち 1 名のみが該当、本人に確認し進めていく。

・30 年表彰については、候補者リスト 47 名の候補あり (過去に辞退された方も含む)。10 月 8 日に各地域理事にリストを送り、協力呼びかけを行っている。

次に、叙勲に関してですが、表彰委員会で挙がった会員 1 名を推薦し、ご本人からも受理の意向を確認。令和 6 年秋の叙勲に向けて準備を進めている。

福利厚生 (愛下)：

ホームページワーキンググループ (HPWG) の話し合いを今後実施していきますが、ホームページの活用状況について現状把握のアンケートを今年度に会員から集めて今

後の参考にしてみたい。

また大迫総務理事より、ホームページにある一般の方を対象とした診療放射線技師についての内容についても愛下理事や HPWG を中心に改訂を今後していくことの説明がある。

渡邊財務理事より会報をホームページに掲載する場合について報告がある。一般公開にするか会員専用にするかについて法的にはどちらでも問題ないが、発行と同時に印刷物はいらなくなる可能性が出てくる。印刷も事業として行っているので運用を考えないとけなくなってくる。例えば、3 か月程度期間を開けてから公開するなどの方法をとればよいと思う。こちらに関しても HPWG で検討し今後決めたいと思う。大迫総務理事からは、常務理事会でも過去の会報を会員向けに開示してほしいのではないかという話があり、事務所にある過去の会報に関して電子保存 (PDF) を進めていることの説明がある。準備ができれば会員が閲覧できるようにする予定であることの報告がある。

広報 (浮田) :

大迫総務理事より 10 月上旬に 613 部会報 (第 137 号) の発送について報告がある。また今後は浮田広報理事を中心に内容をさらに充実させていく予定であり、次の会報は 1 月発送を目標に準備中であることの報告がある。

財務 (渡邊) :

九州地域放射線技師会 負担金について、9 月 19 日 (火) 付で 298,000 円 (会員数 596 名×500 円) を九州地域放射線技師会へ送金したことについて報告がある。

夜間急病センター委託契約 (地域保健協力事業) は、毎年 11 月ぐらいに鹿児島市医師会から委託契約案内があり、今年度も契約を結んでいる。

ピンクリボンのイベント自体は今年度もないが、例年ピンクリボン協賛金 (前年度 30,000 円) を払っている。

常務理事会で会報をホームページにホームページへのアップロードについて今後検討する内容があったが、法的に定められた決まりはないので、法人の会報の目的趣旨等に照らし合わせて判断する必要はあるが、会報発送後数か月以降などにホームページへのアップロードは問題がない。今後さらに検討をしていければと思う。

学術 (藤崎 誠) :

藤崎誠理事よりこれまでに開催された研究会等の開催報告がなされた。

次に、研修会の案内文に病院の連絡先 (電話番号) を記載していると夜間や休日研修会中に電話による問い合わせがあり、他部署へ迷惑がかかった事例の報告があった。案内文の連絡先はメールアドレスや「休日、夜間および研修会開催中の施設へのお問い合わせはお控え下さい」を記載するなどの対策が必要であることの報告がある。

藤崎副会長より第 2 回告示研修会は定員に満たなかったことの報告がある。鹿児島で告示研修会に参加した人数は、現時点で約 300 名となっている。現在の計画では 2026 年度までは現在の方法で実施となっているがその後については決まっていない。

坂口理事より

研修会の告知についてですが、現在はホームページに見に行かないと知ることができないのでいい方法がないか質問がある。大迫総務理事より告知に関しては、『議題 7 LINE の活用促進について』で協議する旨の説明がある。

総務 (大迫) :

地域医療介護総合確保基金 (事業区分 6) の追加募集 web 説明会について

概要としては以下の 6 点となります。

- 1, 地域医療介護総合確保基金 (事業区分 6) で告示研修の受講料としてつかえる。
- 2, 補助金は県から国に申請が出ている県だけ対象 (鹿児島は申請が出ていないため今年度は対象外)
- 3, 補助金の申請が出ていたとしても告示研修の受講料として申請がされているか確認が必要
- 4, 補助金の申請は各医療機関から出す。
令和 3 年度のデータを元に鹿児島県で対象となる医療機関は 9 施設
- 5, 補助金について広く会員に周知してもらいたい。
昨年のアンケート結果で知らなかったとの回答が多かった。
- 6, 県から申請が出ていない都道府県は、県の担当部署に技師会としてお願いをしてもらいたい。

臨床工学技士会・臨床 (衛生) 検査技師会とも連携し

てください。

公文書発行一覧別紙参照

議題 2 会員動向報告（第 6 条）：組織理事

組織（木場）：

会員動向

年 月	月末 会員数	入 会	転 入	転 出	退 会
2022 年度末集計	584	33	8	3	7
2023 年 4 月	591	0	0	2	5
2023 年 5 月	595	5	1	0	2
2023 年 6 月	600	5	0	0	0
2023 年 7 月	608	7	1	0	0
2023 年 8 月	615	8	0	0	1
2023 年 9 月	618	4	0	1	0

木場理事が欠席のため大迫総務理事より以下の報告がある。

・ 再入会申請の流れについて

再入会申請者に対し、過去未納分があった場合の対応を JART 事務局へ問い合わせた所、退会（除籍）から 5 年以内で未納分があれば弁護士事務所から債権回収にて JART+県会費合算請求し、納入確認後に JART 受付。その後初年度会費を JART+県会費合算請求しているが、その工程は県技師会が JARTIS 入会受付後の作業（組織理事が担当）であった。

新入会者は県三役の入会承認後に JARTIS 入会受付していたが、再入会申請者は未納分を清算した後に入会承認依頼すべきと指摘を受け、既存の新入会の流れが適用できなくなっている。再入会申請者の流れについて協議し下記の流れが提案される。

【再入会申請者の入会流れ】

- ①再入会申請（本人が JARTIS にて手続き）
- ②免許証提出依頼（組織理事が申請者へメール）
- ③免許証提出（本人が JPRG または PDF で組織理事に返信）
- ④再入会仮承認（三役に回覧し組織理事で止めておく）
- ⑤入会受付（組織理事が JARTIS 対応）
- ⑥会費納入（JART から未納分含めて振込用紙送付）
- ⑦再入会承認書に組織理事署名し正式承認
- ⑧入会承認（組織理事が JARTIS 対応）

以上、再入会申請者の入会流れについて出席理事全てが

同意し承認された。

・ 除籍対象者に対する通知案内時期について

過去議事録（令和 4 年度第 4 回理事会）にて

議題 2 会員動向報告：組織理事 より以下要約

「2 年連続の未納で除籍対象者となる。こちらに対して声掛けを行うべきか悩んでいる。財務理事からは JART より 2 月の合算請求の際に通知が届くので早めに対応した方がいい。理事会にて協議がなされ今回については組織理事よりメールまたは郵送にて本人に通知を行う。次年度に関しては 9 月に案内を行うことの提案がなされ承認された。」とありましたが、前理事より年末くらいでと引継ぎある。

この件に関して再度除籍通知案内時期について協議し案内は、会費の締め切りは 9 月末となっているため 10 月中に出す。また、メールアドレスの無い会員の郵送先は JARTIS 情報「会誌等送付先」に登録されている方に案内を出すことが提案された。

以上、除籍対象者に対する通知案内時期について出席理事全てが同意し承認された。

*入会について

新入会の登録は免許書を確認してから JART の登録を行うことになっているが、免許取得直後の方は、免許が届くまでの期間（長い時は約 3 か月）は登録ができない状態にある。そのため告示研修等の登録ができない。現状について伊藤理事から報告があり、検討の結果。免許が届くまでは『合格通知のはがき』で対応し免許が届き次第提出してもらうこととなった。

【報告事項】

・ 再入会申請について

8 月に再入会申請あり 2 年未納の除籍者でその時点で納入確認できませんでしたので、JART 事務局へ問い合わせたところ、県技師会にて JARTIS 「受付」後過去 5 年分の納入状況を確認し未納があれば債権回収依頼している弁護士事務所から合算して請求（今年の 3 月から開始）。納入確認すれば JART 事務局「受付」し、初年度会費を合算請求する流れであることを確認。しかし今回該当者は 7 月に県ホームページへ退会（除籍）と再入会について問い合わせし、「未納による除籍、納入しなければいけない、再入会は JART から」と回答され、再入会申請日同日

に期限切れの払込票にて郵便局で入金。JART 事務局からは不明入金扱いとなり収納代行会社に調査依頼がさらに必要となり現在確認中の状況となっている。

・勤務先施設情報登録・変更届処理について

JART 事務局より上記申請の処理依頼有。勤務先施設情報登録 2 件（前原総合医療病院、あさひ会金子病院）、勤務先施設情報変更 6 件（垂水市立医療センター垂水中央病院、いづろ今村病院、県民健康プラザ鹿屋医療センター、鹿児島徳洲会病院、公益社団法人昭和会いまきいれ総合病院、医療法人明輝会明輝会クリニック）処理した。

議題 3 規定・細則の改訂について（総務：大迫）

表彰規程細則の一部変更について

第 1 条の感謝状に各研究会・部会の会務に 10 年以上を目安に従事した者。を追記し、各地域世話人の会務については、項目を分けて記載する。こちらに関しては、役員を 8 年以上、その他は 10 年以上を対象に表彰委員会に該当者を選出。検討した結果、表彰の対象となったものを総会時に表彰（感謝状）を行う。

以上、表彰規程細則の一部変更について説明があった。

（詳細は別紙参照）

会計処理規程の一部変更について

今回の改訂で出納責任者を会計担当者へ変更し、会計責任者を会長が行うこととなった。また、物品の購入に関して、購入金額が 30,000 円を超える物品については事前に購買稟議書が必要になる点や 100,000 円を超える物品においては、相見積もりが必要なことについて説明がある。その他は主に文言の修正となっている。

以上、会計処理規程の改訂について説明があった。（詳細は別紙参照）

表彰規程細則の一部変更と会計処理規程の改訂について出席理事全てが同意し承認された。

議題 4 公益監査報告

9/6（水）10：00～15：00 坂元事務所にて開催された

指摘を受けた内容

1. 会計処理等について

令和 4 年度の事業報告書等については、貸借対照表の財

務諸表に対する注記及び社員名簿の添付漏れ表の財務諸表に対する注記及び社員名簿の添付漏れ、事業の概要が過年度の事業が記載されていた。定期提出書類（事業計画等及び事業報告書等）については、学事法制課で確認の結果、平成 25 年度以降から遡って修正が必要と連絡を受けていることから、同期間の定期提出書類の修正が必要。*今後修正作業を今後行う

2. 役員報酬支給基準について

「役員等の報酬及び費用の支給に関する規程」を改正し施行しているが、理事会の承認を受けていないとこのことで変更届が提出されていない。については、理事会の承認後、速やかに県へ変更届を提出すること。

*この件は 3 月 21 日の理事会にて承認済みのため、県（公益インフォメーション）へ変更届を提出する。

3. 理事及び監事の履歴書について

理事及び監事の履歴書には職歴等の記載がなく、法人法第 65 条に規定する資格等の確認が取れないため、理事及び監事に就任する前の職歴や賞罰等の記載を要する書式により、履歴書を作成すること。

*レイアウトの修正を行う

4. 欠格事項に係る確認書の保存について

一部、確認できない年度の根拠資料が見受けられたため、10 年間は主たる事務所に適正に保存すること。

*過去の資料を整理整頓する。資料は年度ごとにまとめて作成する。

5. 法人の印の保管について

公印規程第 5 条第 2 項及び第 3 項に規定する方法により公印が保管されていないため、規定に則った管理を行うこと。

*金庫を購入し保管をする。

その他指摘事項

【財務関連】

・資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の審議・議事録記載

・納税証明書（県担当者・市役所と相談し現行のままが良いと回答いただいた）

・定期報告書の記載漏れ等

・報酬規程の改訂時は公益インフォメーションへ変更届を申請

- ・補正予算に関する規程の修正が必要（現行では補正予算を組まなければならない）

【総務関連】

- ・年度末に会員名簿（タイトル：社員名簿）を2種類作成する。（1、名前のみ、2、名前、住所）
- ・理事及び監事履歴書レイアウトについて見直しを行う。必要な項目は以下のとなった
会員番号・技師登録年月日・職場・職歴
- ・総会議事録の参加者数は、議決権と委任は分けて記載する。
- ・総会資料には作成内容の確認の記録を残すため作成者と確認者の署名を付ける。

以上、公益監査報告と今後の対応について出席理事全てが同意し承認された。

議題 5 地域世話人会の会場費について

世話人会等を行う際に使用する病院によっては、会場費が必要になる場合があります。今後このような場合において理事会で検討した結果、原則は、WEB か無料でできる場所とする。ただし、会長が必要と認めた場合はその限りではないとした。

以上、地域世話人会の会場費について出席理事全てが同意し承認された。

議題 6 研究会動画記録について

技師会退会時の理由に、会員になるメリットがないと言う意見があり、改善の一環として研究会等を WEB 開催または Hybrid 開催する事で、離島や遠方の会員や子育て等で夕方参加できない会員にも研究会に参加しやすい環境を整えてきた。現在、研究会の WEB 開催時は開催報告作成用として録画をしているが、使用后一定期間過ぎると削除している。この録画データを技師会ホームページの会員サイトで一定期間視聴できるようにできるようにし、当日参加できなかった会員や登録上限の定員（150名）を超えたため登録できなかった会員に視聴する機会を作ることで会員へ還元する機会を増やせないか協議を行った。

条件として下記の内容がでた。

- 1、事前に演者に一定期間アーカイブの視聴があること

の許可を取る。

- 2、ダウンロードの禁止

- 3、各種認定に必要なポイントに関しては当日参加のみ
上記内容も含めて、地域・部会・研究会の代表世話人を対象とした研究会開催についての意見交換会でも協議し具体的なルールを決めていきたいと思います。次回、理事会で再度協議し次年度から実施するか決めることとなった。

議題 7 第 20 回 九州医療技術学術大会(鹿児島大会)

第 1 回準備委員会報告

2025 年度の鹿児島大会の第 1 回準備委員会を 9 月 27 日に開催しました。メンバーは、太田原（欠席）・藤崎拓郎・渡邊・大迫・鹿児島大学病院から西郷・豊田で話し合いを行った。次回までにテーマ・シンポジウム・特別講演などについて各自検討することとした。また、追加メンバーとして総務担当として奥(鹿児島大学病院)・HP 担当に若松(鹿児島大学病院)を追加することが決まった。第 2 回準備委員会を大分大会後に開催する。

次に、今年度開催する大分大会の電子抄録が 10 月 15 日からダウンロードが可能となります。ホームページ等でユーザー名とパスワードが必要になりますが、大会側は「各県技師会にお問い合わせください」と案内されていますが、鹿児島県としては、どのようにしたらいいか検討を行い、会員サイトからダウンロードできるようにすることとなった。

以上、電子抄録のユーザー名とパスワードの告知方法について出席理事全てが同意し承認された。

議題 8 LINE の活用促進について

LINE の運用について総務理事より 2023 年 6 月の利用料金改定に伴いメッセージの送信ができなくなっている状況を説明があり、常務理事会にて会員の利便性や情報発信の観点からライトプラン（月額固定費 5000 円）で契約し利用を継続したほうがいいのではないかととなり、再度理事に経緯と内容の説明を行った。

以上、LINE をライトプランへ契約変更について出席理事全てが同意し承認された。

議題 9 その他理事より報告・審議

① 坂元事務所当番業務内容について（総務：大迫）

これまで当番表に記載していた内容が現状と異なっているため下記の内容へ変更したいと思います。

- 1, 坂元事務所 当番表の名前が書いてある週のどこか 1 日だけ事務所に行ってください。
- 2, 1 時間以上は事務所に滞在する。
- 3, 各部屋異常がないか見回る。換気、簡単な掃除などを。窓閉めるの忘れずに！
- 4, 異常があったら会長に連絡する。
- 5, 財務関係郵便物（緑の振替通知書や領収書）は 2 階会議室の机に置いたままにしてください。
- 6, その他郵便などは、直接またはメーカー便で事務局（総務常務理事）まで届けてください。
直接またはメーカー便で届ける場合は事前にメールしてください。
- 7, 当番報告書は一週間以内に理事全員にメールで報告書を送付する
事務所パソコンから送ってもいいです。当番報告書はデスクトップにあります。

以上、坂元事務所当番業務内容について出席理事全てが同意し承認された。

② 夜間急病センターについて（総務：脇田）

夜間急病センター勤務者の継続勤務について報告があり、継続の判断が必要となる対象について、継続判断可否のプロセスの説明があった。

第 2 回当直者研修会を 12 月 5 日に鹿児島市勤労者交流センターで南風病院の吉野先生に対面のみで行うことになっていることについて報告がある。

③ その他意見交換

特に報告事項なし

閉会

議長より全ての議事が終了し、令和 5 年度第 3 回理事会の閉会が宣言された。

以上の決議を明確にするため。この議事録を作成し定款第 38 条 2 項に沿って、会議に出席した理事及び監事の中から指名した議事録署名人 2 人以上がこれに署名（電子署名及び認証業務に関する法律第 2 条第 1 項に規定する電子署名を含む。）するものとする。

今回は、太田原会長、池田監事、藤崎拓郎理事、渡邊理事、坂口理事を議事録署名人とする。

以上

令和 4 年 10 月 14 日

議事録作成者：理事 大迫 俊一

『会務一覧』

開催日	内容	開催場所	出席者
2023/6/18	第102回 定時総会/春季学術大会	鹿児島医療技術専門学校	全理事
2023/6/18	令和5年度 第2回理事会	鹿児島医療技術専門学校	理事20名
2023/7/1	FRT九州 沖縄大会	沖縄産業支援センター	太田原会長・大迫副会長・渡邊理事・野中理事
2023/7/7	組織理事引継ぎ会議	事務所	伊藤理事・木場理事・渡邊理事
2023/7/7	公認会計士相談	岩重洋一公認会計事務所	渡邊理事・岩重公認会計士
2023/7/10	第3回 三役会議	事務所	太田原会長・藤崎副会長・大迫副会長・渡邊理事・野中理事
2023/8/22	第4回 三役会議	事務所	太田原会長・藤崎副会長・大迫副会長・渡邊理事・野中理事
2023/8/26	原田学園学校評価委員会および教育編成会議	鹿児島医療技術専門学校	野中理事
2023/8/26	地域医療介護総合確保基金(事業区分6)の追加募集 web 説明会	WEB	太田原会長・大迫副会長
2023/9/6	公益監査	事務所	太田原会長・渡邊理事・大迫理事・池田監事・岩重公認会計士
2023/9/18	表彰委員会	相良病院	太田原会長・野中理事・大迫副会長・渡邊理事・委員3名
2023/9/23	第5回 三役会議	事務所	太田原会長・藤崎副会長・大迫副会長・渡邊理事・野中理事
2023/9/24	坂元事務所清掃	坂元事務所	太田原、藤崎(拓)、大迫、渡邊、浮田、木場、野中、米重、木原
2023/9/24	令和5年度 第1回常務理事会	事務所 (WEB)	会長・副会長・常務理事5名
2023/9/27	九州医療技術学術大会 準備委員会	鹿児島大学病院	太田原会長・藤崎副会長・大迫副会長・渡邊理事
2023/9/29~	第39回日本診療放射線技師学術大会	熊本城ホール	太田原会長・大迫副会長
2023/9/30	令和5年度地域原子力災害医療連携推進協議会	熊本城ホール	太田原会長・大迫副会長
2023/10/01	県技師会会報発送準備	相良病院	大迫、浮田、吉田

『公文書発行一覧』

23008	2023/5/23	告示研修会(実技)へのスタッフ派遣について(お願い)	鹿児島大学病院 病院長 坂本 泰二 様	2023年7月9日 令和5年度第1回告示研修会 元日田 調さん
23009	2023/5/23		鹿児島大学病院 臨床技術部 放射線部門 技師長 西郷 康正 様	
23010	2023/5/23		鹿児島大学病院 臨床技術部 放射線部門 元日田 調 様	
23011	2023/5/30	2023年度広告掲載料請求書	株式会社 メディカルクリエイト	担当: 沖野様
23012	2023/6/18	公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 代表理事・理事の委嘱について	理事23名	
23013	2023/6/18	公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 監事の委嘱について	監事2名	
23014	2023/6/22	第102回定時総会 特別講演 講演のお礼	公益社団法人 日本診療放射線技師会 理事 川守田 龍 様	
23015	2023/6/23	鹿児島県診療放射線技師会 鹿児島MRI研究会での講演について(ご依頼)	鹿児島市立病院 放射線科 科長 中條 正典 様	
23016	2023/7/3	2023年度広告掲載料請求書	富士フィルムヘルスケア	担当: 石橋様
23017	2023/7/5	鹿児島超音波研究会での講演について(ご依頼)	霧島市立医師会医療センター 副看護部長 瀧脇 申護 様	2023年8月23日 第23回 鹿児島超音波研究会
23018	2023/7/5	鹿児島超音波研究会での講師派遣のご依頼について(お願い)	霧島市立医師会医療センター 看護部長 増田 いづみ 様	
23019	2023/7/18	会場借用のお願いについて	鹿児島医療技術専門学校 校長 原田 敏彦 殿	2023年9月17日 令和5年度第2回告示研修会
23020	2023/7/28	第50回大隅地域研修会での講演について(ご依頼)	医療法人愛誠会 昭南病院 画像診断検査センター科	2023年9月7日 第50回 大隅地域研修会

			医長 梅村 好郎 様	
23021	2023/7/28	第 50 回大隅地域研修会でのご講演について (ご依頼)	徳田脳神経外科病院 重田 洋一 様	
23022	2023/7/28	第 50 回大隅地域研修会でのご講演について (ご依頼)	昭南病院 相川 晃太 様	
23023	2023/7/28	第 50 回大隅地域研修会でのご講演について (ご依頼)	鹿屋医療センター 白坂 紀男 様	
23024	2023/8/18	鹿児島県診療放射線技師会 鹿児島 CT 研究会での講師派遣のご依頼について (お願い)	鹿児島大学病院 臨床技術部 放射線部門 技師長 西郷 康正 様	
23025	2023/8/18	鹿児島県診療放射線技師会 鹿児島 CT 研究会での講演について (ご依頼)	鹿児島大学病院 臨床技術部 放射線部門 金丸 由起子 様	
23026	2023/8/18	鹿児島県診療放射線技師会 鹿児島 CT 研究会での講師派遣のご依頼について (お願い)	いまきいれ総合病院 中央放射線課技師長 永山 照明 様	2023 年 9 月 21 日 第 56 回鹿児島 CT 研究会
23027	2023/8/18	鹿児島県診療放射線技師会 鹿児島 CT 研究会での講演について (ご依頼)	いまきいれ総合病院 中央放射線課 尾堂 聡 様	
23028	2023/8/18	鹿児島県診療放射線技師会 鹿児島 CT 研究会での講師派遣のご依頼について (お願い)	いまきいれ総合病院 病院長 濱崎 秀一 様	
23029	2023/8/18	鹿児島県診療放射線技師会 鹿児島 CT 研究会での講演について (ご依頼)	いまきいれ総合病院 診療統括部長・副院長 米田 敏 様	
23030	2023/9/11	鹿児島県診療放射線技師会 鹿児島消化器画像研究会での講演について (ご依頼)	医療法人親愛 天神クリニック 森 一宏 様	2023 年 10 月 4 日 第 73 回鹿児島消化器画像研究会
23031	2023/9/11	鹿児島県診療放射線技師会 鹿児島消化器画像研究会での講師派遣のご依頼について (お願い)	医療法人親愛 天神クリニック 所属長 殿	
23032	2023/9/28	放射線量測定結果について	耳鼻咽喉科田上クリニック 伊東 祐久 院長 様	
23033	2023/9/28	放射線量測定結果について	ふくいわ耳鼻咽喉科クリニック 福岩 達哉 院長 様	
23034	2023/10/7	令和 5 年度 鹿児島市夜間急病センター 第 2 回当直者研修会 ご講演について (ご依頼)	公益社団法人鹿児島共済会 南風病院 整形外科主任部長 吉野 伸司 様	令和 5 年度 鹿児島市夜間急病センター 当直者研修会
23035	2023/10/7	令和 5 年度 鹿児島市夜間急病センター当直者研修会での講師派遣のご依頼について (お願い)	公益社団法人鹿児島共済会南風病院 病院長 末永 豊邦 様	

表彰規程細則 新旧対照表

新	旧	備考欄
<p>(表彰基準)</p> <p>第1条 感謝状</p> <p>(1) 技師会に善意の奉仕をした者、および準会員で鹿児島県に勤務し、本会に対して貢献があったと会長が認めた者。</p> <p>(2) 8年以上役員として従事した者。</p> <p>(3) 各地域世話人の会務に10年以上を目安に従事した者。</p> <p>(4) 各研究会・部会の会務に10年以上を目安に従事した者。</p> <p>附 則</p> <p>1 この規程は、平成25年4月1日から施行する。</p> <p>2 この規程は、令和5年3月21日より施行する。</p> <p>3 この規程は、令和5年10月14日より施行する。</p>	<p>(表彰基準)</p> <p>第1条 感謝状</p> <p>(1) 技師会に善意の奉仕をした者、および準会員で鹿児島県に勤務し、本会に対して貢献があったと会長が認めた者。</p> <p>(2) 8年以上役員として従事した者、または各地域の会務に10年以上を目安に従事した者。</p> <p>附 則</p> <p>1 この規程は、平成25年4月1日から施行する。</p> <p>2 この規程は、令和5年3月21日より施行する。</p>	<p>地域世話人を分けて記載</p> <p>各研究会・部会を追加</p>

会計処理規程 新旧対照表

新	旧	備考欄
<p>公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 会計処理規程</p> <p>第1章 総 則</p> <p>(目的)</p> <p>第1条 この規程は、公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会(以下、この法人という)の財務および会計の取扱いに関する基準を定め、収支の状況、財産の状況を明らかにし、明瞭な報告と能率的な運営を図ることを目的とする。</p> <p>(適用範囲)</p> <p>第2条 この規程は、この法人の財務および会計業務のすべてに適用する。</p> <p>(会計の原則)</p> <p>第3条 この法人の会計処理は、法令、定款及びこの規程の定めによるほか、公益法人会計基準に準拠して処理しなければならない。</p> <p>(会計区分)</p> <p>第4条 この法人の会計は、公益目的事業会計と法人会計に区分する。公益目的事業会計は、必要に応じてさらに区分することができる。</p>	<p>公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 会計処理規定</p> <p>第1章 総 則</p> <p>(目的)</p> <p>第1条 この規定は、公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会の財務および会計(以下会計)の取扱いに関する基準を定め、収支の状況、財産の状況を明らかにし、明瞭な報告の提供と能率的な運営を図ることを目的とする。</p> <p>(会計の原則)</p> <p>第2条 本会の会計処理は、法令、定款及び本規定の定めによるほか、公益法人会計基準に準拠して処理しなければならない。</p> <p>(区分)</p> <p>第3条 本会の会計は、公益目的事業会計と法人会計に区分する。公益目的事業会計の事業については、必要に応じてさらに区分することができる。</p>	<p>(変更)</p> <p>(変更・追加)</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>(追加)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(削除)</p>

会計処理規程 新旧対照表

新	旧	備考欄
<p>(会計年度)</p> <p>第5条 この法人の会計年度は、定款の定めにより毎年4月1日から翌年3月31日とする。</p> <p>第2章 組織</p> <p>(総括)</p> <p>第6条 この法人の会計は、会長が総括するものとする。</p> <p>(会計の担当者)</p> <p>第7条 会長は、会計責任者を重任し、理事の中から会計担当者として財務理事を任命するものとする。</p> <p>(1)財務理事は、責任をもって適切に会計処理を行う。</p> <p>(2)財務理事は、補助者に会計処理業務の一部を行わせることが</p>	<p>(会計年度)</p> <p>第4条 本会の会計年度は、定款の定めにより、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。</p> <p>第2章 組織</p> <p><u>(担当理事)</u></p> <p>第1条 会長は、理事の中から出納責任者を任命するものとする。</p> <p><u>(1) 出納責任者は会計担当理事として、会計処理の責任者とする。</u></p> <p><u>(2) 会計担当理事は、会計処理の一部に関して、補助者を命じて行わせることができる。</u></p> <p>(総括)</p> <p>第2条 本会の会計は、会長が総括するものとする。</p>	<p>(変更)(削除) (削除)</p> <p>条名は連番へ変更 (7条へ変更)</p> <p>(変更)</p> <p>旧 第2章 組織 第1条から変更 (変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p>

2 / 9

会計処理規程 新旧対照表

新	旧	備考欄
<p>できる。</p> <p>第3章 会計帳簿</p> <p>(会計帳簿の種類)</p> <p>第8条 会計帳簿は、次のとおりとする。</p> <p>(1)主要簿</p> <p>① 仕訳帳</p> <p>② 総勘定元帳</p> <p>(2)補助簿</p> <p>① 現金出納帳</p> <p>② 預金出納帳</p> <p>③ 貯金出納帳</p> <p>④ 固定資産台帳</p> <p>⑤ 会費台帳</p> <p>⑥ その他の資産管理および会計に必要な書類</p> <p>2 仕訳帳は、会計伝票をもってこれに代えることができる。</p> <p>3 補助簿は、これを必要とする勘定科目について備え、会計伝票並びに総勘定と有機的関連のもとに作成しなければならない。</p> <p>(会計帳簿の様式)</p> <p>第9条 会計帳簿は、公正な会計慣行の様式により作成されるものとする。</p>	<p>第3章 勘定および帳簿</p> <p>(帳簿)</p> <p>第1条 会計帳簿は、次のとおりとする。</p> <p>(1)主要簿</p> <p>① 仕訳帳</p> <p>② 総勘定元帳</p> <p>(2)補助簿</p> <p>① 現金出納帳</p> <p>② 預金出納帳</p> <p>③ 固定資産台帳</p> <p>④ 会費台帳</p> <p>⑤ その他の資産管理および会計に必要な書類</p> <p>2 仕訳帳は、会計伝票をもってこれに代えることができる。</p> <p>3 補助簿は、これを必要とする勘定科目について備え、会計伝票並びに総勘定と有機的関連のもとに作成しなければならない。</p> <p>(会計帳簿の様式)</p> <p>第2条 会計帳簿は、公正な会計慣行の様式により作成されるものとする。</p>	<p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(追加)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p>

3 / 9

会計処理規程 新旧対照表

新	旧	備考欄
<p>3 手形および有価証券は、金銭に準じて扱う。</p> <p>(出納方法)</p> <p><u>第18条 金銭の出納は、会長の承認を得たのち伝票および証拠書に基づいて、財務理事が行うものとする。</u></p> <p>(帳簿の記載)</p> <p><u>第19条 財務担当理事は金銭を出納したときは、予算で定めた勘定科目に区分し、現金または預金出納簿帳に記帳する。</u></p> <p>(預貯金の名義人)</p> <p><u>第20条 預貯金の名義人は会長とする。</u></p> <p>2 出納に使用する印鑑は、本会印を<u>使用するものとし、その他の目的での使用しないものとする。</u></p> <p>3 前項の印鑑は会長が保管し、<u>預貯金通帳簿は財務理事が保管する。</u></p> <p>(小口現金)</p> <p><u>第21条 財務理事は、日々の現金支払いに充てるため、<u>手元に15万円程度</u>の現金を置くことができる。この場合、現金出納帳に</u></p>	<p>3 手形および有価証券は、金銭に準じて扱う。</p> <p>(出納方法)</p> <p><u>第2条 金銭の収納は、伝票および証拠書に基づいて行うものとし、担当理事により作成され、会長および会計担当理事の承認を得るものとする。</u></p> <p><u>2 金銭の支払いは、会長および会計担当理事の承認を得た伝票および証拠書により行うものとする。</u></p> <p>(帳簿の記載)</p> <p><u>第3条 会計担当理事は、金銭を収納したときまたは支払いをしたときは、予算で定めた費目勘定科目に区分し、現金または預金出納簿帳に記帳する。</u></p> <p>(預貯金の名義人)</p> <p><u>第4条 預貯金の名義人は会長とする。</u></p> <p>2 出納に使用する印鑑は、本会印を<u>使用するものとする。</u></p> <p>3 前項の印鑑は会長が保管し、<u>預金通帳簿は会計担当理事が保管する。</u></p> <p>(手持ち現金)</p> <p><u>第5条 会計担当理事は、日々の現金支払いに充てるため <u>15万円程度</u>の手元現金を置くことができる。この場合、現金出納帳に記</u></p>	<p>(変更)</p> <p>2項をまとめる。</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p>

6 / 9

会計処理規程 新旧対照表

新	旧	備考欄
<p>記帳し整理しなければならない。</p> <p>(金銭の残高照合)</p> <p><u>第22条 財務理事は、預貯金通帳を月初めに記帳し、それを各出納帳残高と照合するものとする。</u></p> <p>2 <u>当該事業年度の末日においては、取引金融機関すべての残高証明書を発行するものとする。</u></p> <p>第6章 物品</p> <p>(物品の購入)</p> <p><u>第23条 この法人が運営する事業において、必要な物品を購入することができる。ただし、購入に際して、領収書またはレシートを紛失し、その回復が不可能となった場合は購入者がその実費を負担するものとする。</u></p> <p>2 購入金額が30,000円を超える物品については事前に購買稟議書を財務理事に提出し常務理事の承認を得るものとする。</p> <p>3 購入金額が100,000円を超える物品においては、相見積もりを購買稟議書に添付し、財務理事に提出し常務理事の承認を得るものとする。</p> <p>4 すべての購買稟議書は財務理事が保管し、必要に応じて公開できるようにすること。</p>	<p>帳し整理しなければならない。</p> <p>(金銭の残高照合)</p> <p><u>第6条 会計担当理事は、現金残高を現金出納帳残高と照合するものとする。</u></p> <p>2 <u>預貯金残高は、月1回取引銀行等の預金通帳簿または貯金通帳簿により照合するものとする。ただし、1年に1度は、取引銀行等の預金残高証明書で確認しなければならない。</u></p> <p>第6章 物品</p>	<p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(追加)</p>

7 / 9

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会 行事・活動予定

2023年

5月	7日(日)	表彰委員会	相良病院
	10日(水)	長崎大学高度被ばく医療支援センター 原子力災害医療県別意見交換会	相良病院
	17日(水)	第55回 鹿児島CT研究会	WEB
	20日(土)	第1回 甲状腺簡易測定研修(鹿児島県)	鹿児島県市町村自治会館
	21日(日)	令和4年度 期末監査	坂元事務所
	21日(日)	令和5年度 第1回理事会	坂元事務所・WEB
6月	4日(土)	第1回 原子力災害医療基礎研修	WEB
	5日(日)	第2回 原子力災害医療基礎研修	WEB
	11日(日)	令和5年度 フレッシュアップセミナー	原田学園・WEB
	18日(日)	第101回 定時総会及び春季学術大会	原田学園・WEB
	18日(日)	令和4年度 第2回理事会	鹿児島医療技術専門学校
	21日(水)	第72回 鹿児島消化器画像研究会・第22回 鹿児島超音波研究会	WEB
7月	1日(日)	FRT九州研修会	沖縄
	9日(日)	令和5年度 第1回告示研修会	鹿児島医療技術専門学校
	16日(日)	令和5年度 市民健康まつり	西原商会アリーナ
	22日(土)	令和5年度 第2回理事会	WEB
	26日(水)	霧島・始良地域研修会	WEB
8月	6日(日)	令和5年度 統一講習会(1日目)	鹿児島医療技術専門学校
	9日(水)	監査(鹿児島県)	坂元事務所
	11日(金)	令和5年度 統一講習会(2日目)	鹿児島医療技術専門学校
	23日(水)	第23回 鹿児島超音波研究会	WEB
	25日(金)	第26回 鹿児島MRI研究会	WEB
9月	7日(木)	第50回 大隅地域研修会	WEB
	17日(日)	令和5年度 第2回告示研修会	鹿児島医療技術専門学校
	21日(木)	第56回 鹿児島CT研究会	WEB
10月	4日(水)	第73回 鹿児島消化器画像研究会	WEB
	12日(木)	令和5年度リーダー及びリーダー育成研修会	WEB
	14日(土)	令和5年度第3回理事会	坂元事務所
11月	3日・4日	第18回 九州放射線医療技術学術大会	大分
	11日(土)	第3回 原子力災害医療基礎研修	WEB
	13日(月)	第4回 原子力災害医療基礎研修	WEB
	18日(土)	鹿児島県診療放射線技師会 秋季学術大会(南薩地域研修会)	県立薩南病院・WEB
	18日(土)	第5回 甲状腺簡易測定研修(鹿児島県)	-
	22日(水)	地域・部会・研究会を対象とした研究会開催についての意見交換会	WEB
12月	3日(日)	令和5年度 第3回告示研修会	鹿児島医療技術専門学校
	5日(火)	令和5年度 鹿児島市夜間急病センター 第2回当直者研修会	勤労者交流センター

	9日(土)	令和5年度九州地域放射線技師会研修会	福岡
--	-------	--------------------	----

2024年

1月	14日(日)	中間監査	坂元事務所
	14日(日)	第2回 事務所建替え委員会	坂元事務所
	21日(日)	令和5年度 第4回告示研修会	鹿児島医療技術専門学校
	24日(水)	第57回鹿児島CT研究会	WEB
	30日(火)	令和5年度放射線機器管理士部会研修会	WEB
2月	7日(水)	第74回鹿児島消化器画像研究会・第25回鹿児島超音波研究会	未定
	10日(土)	令和5年度鹿児島県原子力防災訓練	県内3カ所
	10日(土)	予定_霧島・姶良地域研修会	未定
	17日(土)	第5回 原子力災害医療基礎研修	WEB
	17日(土)	予定_大島地域研修会	未定
	19日(月)	第6回 原子力災害医療基礎研修	WEB
	24日(土)	予定_第43回南薩地域研修会	未定
	27日(火)	令和5年度鹿児島県医療画像情報精度管理士部会研修会	WEB
29日(木)	さくらRT研修会	WEB	
3月	2日(土)	ボウリング大会	T-MAX BOWL

漏洩線量測定事業のご案内

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会では、放射線を取扱う専門職として資格を有する団体の一般社会への利益還元事業と公益事業の一環として、放射線安全管理の啓発を兼ねた環境測定事業を実施しています。基本的には、該当施設会員と放射線管理士部会からの派遣技師と2名で実施する予定です。法令で規定してある測定はX線検査室の周囲だけではなく敷地内病室、居住区域、敷地境界も測定しなければなりません。その測定方法及び測定値の取扱いについての説明も致します。また、測定事業に併せて施設の放射線管理のアドバイスも行っております。些細な事でもご相談ください。

料金は、会員がいる施設が、基本料金2万円+測定料金1方向5千円、会員がいない施設は基本料金4万円、ただし、歯科医院等の場合は、基本料金は2万円となっています。

ご希望の施設がございましたら、見積等をご提示しますので下記電話メールにてご照会下さい。

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 放射線管理士部会 担当 藤崎
☎0996-23-4418 (川内市医師会立市民病院放射線課) krt2@kagoshima-rt.jp

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会役員名簿

事務所住所 〒892-0861 鹿児島県鹿児島市東坂元4丁目28-11

2023-2024 年度

役職名		氏名	所属
会長		太田原 美郎	明輝会クリニック
副会長		藤崎 拓郎	川内市医師会立市民病院
		大迫 俊一	相良病院
常務理事	総務	大迫 俊一	(兼務)
	財務	渡邊 義治	清泉クリニック整形外科内科
	学術	藤崎 誠	南風病院
	福利厚生	愛下 剛	大井病院
	広報	浮田 啓一郎	いまきいれ総合病院
	組織	木場 淳	鹿児島市医師会病院
	表彰	野中 康博	菊野病院
理事	総務	脇田 慎一	いづろ今村病院
		市來 守	今村総合病院
		東 幸浩	鹿児島医療技術専門学校
	学術	藤崎 拓郎	(兼務)
		本村 克朗	鹿児島大学病院
		吉田 紫織	相良病院
		堀上 英昭	鹿児島医療センター
		伊藤 大助	米盛病院
	広報	米重 亮馬	鹿児島市立病院
	財務	木原 悠太	鹿児島市立病院
地域理事	鹿児島	伊藤 大助	(兼務)
	北薩	前田 健一郎	川内市医師会立市民病院
	霧島・始良	坂口 右己	霧島市立医師会医療センター
	大隅	熊谷 繁夫	昭南病院
	南薩	木佐貫 克朗	加世田病院
	大島	元 俊晶	鹿児島県立大島病院
監事		池田 睦	白坂医院
		米山 光明	川内市医師会立市民病院(外部)

編集後記

鹿児島県診療放射線技師会会員の皆様、明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いたします。

皆様お正月はいかが過ごされましたでしょうか。数年ぶりにふるさとに帰省して、向こうでゆっくりお正月を過ごされた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。コロナ禍前はあたりまえだったお正月が戻ってきたこと嬉しく思います。

話は変わりますが今年は2年に1度の診療報酬改定の年。今回の改定より6月1日施行に繰り下げられます。検査だけやっていたら評価されたのは過去の話。病院の収益アップに貢献するために情報収集を行い、改定に臨みたいと思います。

改定といえば（こちらは改訂になりますが）、鹿児島県診療放射線技師会では会報を面白く、内容をもっと充実させるようにとの会長の意向を受け、会報のバージョンアップに取り組んでいます。今号では「若手技師による施設紹介」「企業による最新技術紹介」という新しい企画が始まりました。また次号からは「会員アンケート調査」、そして会員の皆様から募集した写真で表紙を飾りたいと思います。会員参加型の企画が多いことにお気づきかもしれませんが、ぜひ皆様にどんどん参加していただき技師会活動と会報を盛り上げていきたいと思っています。

また会員の皆様が会報で取り上げて欲しい内容や新しい企画等ございましたら、ぜひ広報担当理事 浮田 (keiichirou.ukita@gmail.com) までメールでお知らせください。

それでは今年も皆さんにとって良い年でありますように。

(浮田啓一郎)

鹿児島県診療放射線技師会 会報 第138号（令和6年1月）

発行：公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

発行人：太田原美郎

編集者：大迫俊一、浮田啓一郎、米重亮馬

印刷：株式会社イースト朝日

鹿児島市南栄3丁目30番7号

099-266-5522



非イオン性尿路・血管造影剤

イオプロミド「BYL」

300注 20mL・50mL・100mL
370注 20mL・50mL・100mL
300注シリンジ 50mL・80mL・100mL
370注シリンジ 50mL・80mL・100mL

処方箋医薬品（注意—医師等の処方箋により使用すること）薬価基準収載

※ 効能又は効果、用法及び用量、警告、禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意につきましては、製品添付文書をご参照ください。

Clear Direction. ➤ From Diagnosis to Care.



Bayer

製造販売元 [文献請求先及び問い合わせ先]

バイエル薬品株式会社

大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001

<https://pharma.bayer.jp>

[コンタクトセンター]

0120-106-398

<受付時間> 9:00~17:30(土日祝日・当社休日を除く)

Iopromide「BYL」

2022年4月作成

PP4OPR-JP-0123-31-03

お客様へ、正しさに基づく安心を ご提供いたします。



校正技術能力

年に1回

品質システム
維持能力

維持管理能力

放射線測定器の校正を済ませましょう

正しい測定、確実な放射線・放射能管理を行うためには、使用する測定器が定期的に校正されている必要があります。弊社大洗研究所は、計量法に基づく、校正事業者登録制度(JCSS)におけるγ線の登録業者です。国家標準とトレーサビリティが取れており、信頼性の高い校正サービスを提供いたします。



大洗研究所では、1972年から放射線標準を保有。計量法校正事業者登録制度(JCSS)におけるγ線の校正事業者として登録。また、国際MRA対応認定事業者として、国際相互承認(Mutual Recognition Arrangement)加盟国に通用する認定マーク付きの校正証明書が発行可能です。

● 弊社校正サービスは、ISO9001の要求事項(監視および計測機器の管理)に有効に活用できます。

※ 詳しくは下記までお問い合わせください。

放射線測定器校正サービス(一般校正)

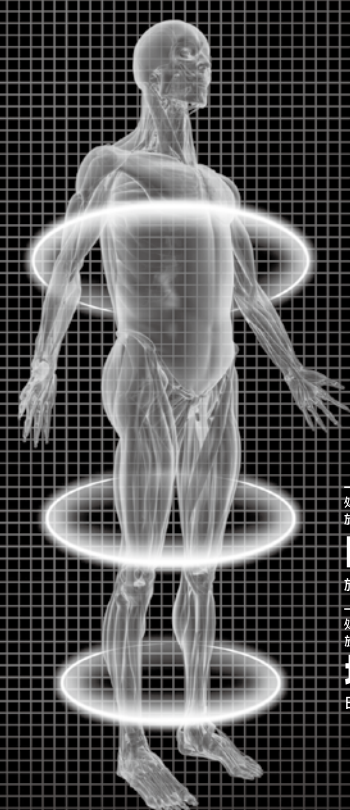
放射線測定器校正

お問い合わせは

株式会社 千代田テクノル

E-mail: ctc-master@c-technol.co.jp

<https://www.c-technol.co.jp>



PET/SPECT

処方箋医薬品^①
放射性医薬品・悪性腫瘍診断薬・虚血性心疾患診断薬・てんかん診断薬

FDGスキャン[®]注
放射性医薬品基準フルデオキシグルコース (¹⁸F)注射液

保険適用

処方箋医薬品^②
放射性医薬品・悪性腫瘍診断薬・炎症性病変診断薬

クエン酸ガリウム(⁶⁷Ga)注NMP
日本薬局方クエン酸ガリウム (⁶⁷Ga)注射液

薬価基準収載

処方箋医薬品^③
放射性医薬品・心臓疾患診断薬・副甲状腺疾患診断薬・腫瘍(脳・甲状腺・肺・骨・軟部・臓器)診断薬

塩化タリウム(²⁰¹Tl)注NMP
日本薬局方塩化タリウム (²⁰¹Tl)注射液

薬価基準収載

処方箋医薬品^④
放射性医薬品・骨疾患診断薬

クリアボン[®]注
放射性医薬品基準ヒドロキシメチレンジホスホン酸テクネチウム (^{99m}Tc)注射液

薬価基準収載

①・登録商標
注)注意・医師等の処方箋により使用すること

■効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は、添付文書をご参照ください。

資料請求先
日本メジフィジックス株式会社

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号
製品に関するお問い合わせ先 ☎ 0120-07-6941

弊社ホームページの「医療関係者専用情報」サイトで
SPECT・PET検査について紹介しています。
<http://www.nmp.co.jp>

2016年3月改訂



患者と医療従事者の安全のために— RaySafeの線量測定ソリューション

RaySafe i3

リアルタイム被ばく測定システム



RaySafe i3は、放射線被ばく線量を抑えるための迅速な対処ができるよう、医療従事者の被ばく状況をお知らせする個人線量計システムです。

RaySafe X2

インテリジェントX線測定器



RaySafe X2は、大型タッチスクリーン式ベースユニットと、小型半導体センサーを組み合わせた、放射線診断QA用のシンプルなX線測定器です。



For All Your Tomorrows
TOYO MEDIC

東洋メディック株式会社

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-8-5
TEL. (03) 6825-1645
<https://www.toyo-medice.co.jp> E-mail info@toyo-medice.co.jp



KONICA MINOLTA

Giving Shape to Ideas

多様な視点で未来をデザインする
RETHINK WHAT'S POSSIBLE

バッテリー内蔵“1.9kg”の軽量設計
迅速なワークフローを実現

超 軽 量 高 感 度 高 耐 久

AeroDR swift
1417HL

軽量化・把持性・高画質で、カセット撮影に変革を

バッテリー内蔵1.9kg	100μm画素/DQE59%*1	全周くぼみ設計
MIL規格*2	防水・防塵IP56*3	高耐久抗菌設計*4

AeroDR swiftは『デジタルラジオグラフィー-SKR3000』を構成するP-85(製造販売認証番号:228ABBZX00115000)の呼称です。

★KONICAMINOLTAロゴ、シンボルマークは、日本及びその他の国におけるコニカミノルタ株式会社の登録商標です。★AeroDR swiftは、日本及びその他の国におけるコニカミノルタ株式会社の登録商標または商標です。★その他記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。*1:1mR, 1cycle/mm(DQEの数値はTypical値です。)*2:Method 516.7 Procedure IV Transit Drop(122cm(48インチ)の高さから、合板の上に6平面、12稜線、8頂点、計26箇所を各1回落下させる。)本製品の耐衝撃性能は、無破損・無故障を保证するものではありません。*3:IP規格(防水・防塵規格)は、IEC(国際電気標準化会議)によって定められています。本製品の防水・防塵性能は、完全防水・防塵、無破損・無故障を保证するものではありません。*4:抗菌効果は全ての面に有効ということではありません。また、抗菌は感染を完全に防げるわけではありません。

製造販売元:コニカミノルタ株式会社 販売元:コニカミノルタジャパン株式会社 105-0023 東京都港区芝浦1-1-1 <http://www.konicaminolta.jp/healthcare>



Introducing a new era of
GE HealthCare



GE HealthCare

GEヘルスケア・ジャパン株式会社

カスタマー・コールセンター 0120-202-021

【受付時間】9:00~18:00 ※土・日・祝を除く

gehealthcare.co.jp

JB08081JA

X線CT装置

NAEOTOM Alpha with Quantum Technology CT redefined.

www.siemens-healthineers.com/jp

The world's first photon-counting CT

イノベーションにより技術が飛躍的に進歩すると、常識が変化することがあります。世界初*のフォトンカウンティングCTの登場はまさにその瞬間と言えます。フォトンカウンティング検出器を採用したNAEOTOM Alphaは、CTの定義を一新しました。QuantaMax detectorは先進的な直接信号変換をベースとして開発されており、より多角的に臨床情報を得ることが可能になります。

*2022年2月 自社調べ



全身用X線CT診断装置 ネオトム Alpha 認証番号: 304AIBZX00004000



SIEMENS
Healthineers

Nemoto



ヴェールを脱いで、
「知の領域」へ。

最先端の造影理論を内蔵した 「考える注入装置」 DUAL SHOT GX7

その注入装置が内蔵したのは、体重入力を重視した最新の造影理論と卓越のインターフェース。理論は、より正確な撮影タイミングを提供し、インターフェースは操作の負担を大きく軽減します。多彩な撮影スキルとより確実な操作性を両立したDUAL SHOT GX7。



DUAL SHOT GX7
CT CONTRAST DELIVERY SYSTEM

株式会社 **根本杏林堂**
東京都文京区本郷2-27-20 TEL.03-3818-3541
<http://www.nemoto-do.co.jp>

FUJIFILM
Value from Innovation

低被ばく、なのに診える。

AI技術を活用して設計された画像再構成技術「IPV」が、
高いノイズ低減率においても、画像の質感を維持。
低線量時でも視認性の優れた画像を提供します。

IPV^{※1}
Powered by
REiLi



SCENARIO View

販売名：全身用X線CT診断装置 SCENARIO View
医療機器認証番号：230ABBZX00027000

製品サイトはコチラ

FUJIFILM

富士フイルムヘルスケア株式会社

〒110-0015 東京都台東区東上野二丁目16番1号
<https://www.fujifilm.com/thc>

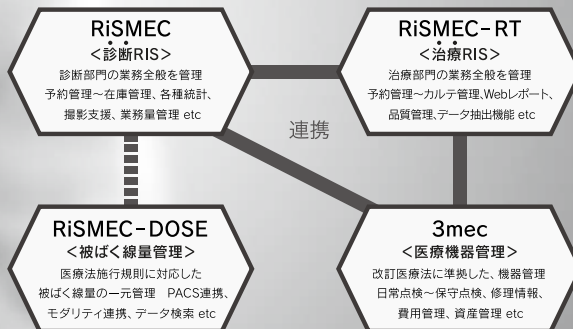
※1 IPVはIterative Progressive reconstruction with Visual modelingの略称です。AI技術のひとつであるMachine Learningを活用して開発した機能です。導入後に自動的に装置の性能・精度が変化することはありません。
●富士フイルムは医療画像診断支援、医療現場のワークフロー支援、そして医療機器の保守サービスに活用できるAI技術の開発を進めこれらの領域で活用できる技術を「REiLi(レイリ)」というブランド名称で展開しています。
●SCENARIO、SCENARIO Viewは富士フイルムヘルスケア株式会社の登録商標です。



システムに
求められるもの
それは
労力なしでプラスα

私たちメディカルクリエイトが、
放射線業務を力強くトータル支援。

4つの管理



<放射線業務を力強くサポートするシリーズ>

<http://www.medical-create.com>



MEDICAL CREATE

〒732-0827 広島市南区稲荷町1-1 ロイヤルタワー 504 営業所(東京・大阪・中四国・福岡・東北・開発センター)

株式会社メディカルクリエイト

TEL 082-568-1920 FAX 082-263-1586

Canon



Introducing our new approach to AI in healthcare

AIテクノロジーを活用した、新しい医療価値の創出——。その世界の起点を私たちは変わることなく、尊い「いのち」への貢献であると考えています。

一人ひとりの患者さんのペーシエント・ジャーニー。さまざまなシーンで、よりパーソナライズされた高精度な診断を支えるのは、高精度データです。

高精細検出器をはじめとする独自技術を、機械学習・深層学習の技術と融合させる。私たちのアプローチから生まれたソリューションはすでに、診断の「質」の向上、CTにおける被ばく量の低減など、新たな医療の世界をかたちづくっています。

<Activity>は、キヤノンメディカルシステムズのAIソリューション・ブランドです。

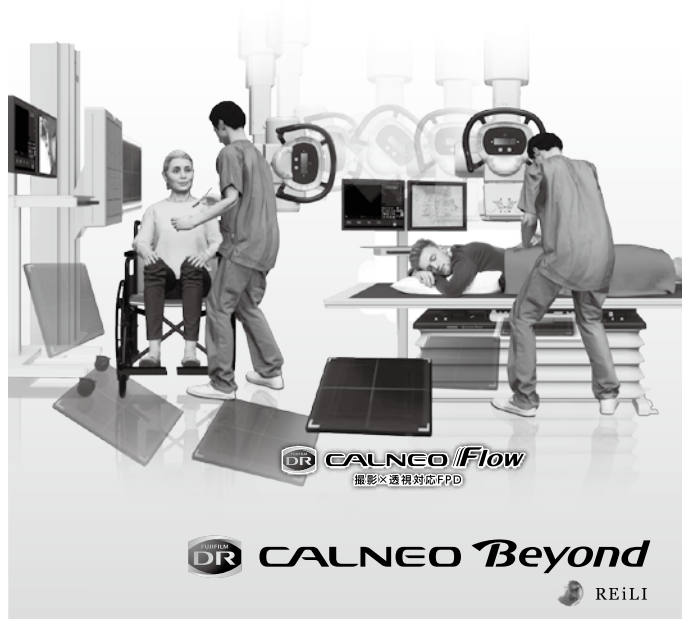
Z000023-08

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

Made For life

FUJIFILM

Value from Innovation



撮影と透視、一部屋で。

検査室の効率的な運用を実現。

低被ばく。なのに、高画質。

検査はだれもが快適に。

●CALNEO、CALNEO Beyond、CALNEO Flow、DCE、Virtual Grid、Virtual Gridロゴ、Hydro AG、Hydro AGロゴは富士フイルム株式会社の登録商標です。

●FUJIFILM、および FUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。 販売名:X線透視撮影装置 CALNEO Beyond 医療機器認証番号:第305ABBZX00007000

富士フイルムヘルスケア株式会社 〒107-0052 東京都港区赤坂九丁目7番3号

<https://www.fujifilm.com/fhc>

